

## 旧石器時代☆Mini 日本史 2009.05.05

1949年（昭和24）、群馬県（1）遺跡の調査により、地質学上（2）とよばれる時代の赤土=（3）層から（4）製石器が確認され、わが国に旧石器時代が存在したことを証明した。この遺跡発見者は行商人で考古学に関心を抱く青年（5）〈1926-89〉であった。

（1）の発見は、学問研究の情熱を示す輝かしい業績でもあった。（2）の時代の化石人骨は沖縄県（6）、静岡県（7）で発見されている。

1 岩宿、2 更新世、3 関東ローム、4 打、5 相沢忠洋、6 港川、7 浜北

## 縄文時代☆Mini 日本史 2009.05.06

更新世の次の（1）とともに縄文時代が始まる。彼らは（2）住居に住み、集落や共同ゴミ捨て場の（3）が形成された。埋葬は（4）が多く、通過儀礼として（5）が行われた。長野県（6）峠や北海道白滝産の（7）や、新潟県姫川流域産の（8）の分布から、交易活動は広範囲に及んだことがわかる。代表的な遺跡に、大型住居が確認された青森県（9）遺跡がある。

1 完新世、2 竪穴、3 貝塚、4 屈葬、5 抜歯、6 和田、7 黒曜石、8 ひすい、9 三内丸山

## 弥生文化☆Mini 日本史 2009.05.07

弥生文化は、稲作と金属器の使用を特色とする。湿田や（1）が営まれ、収穫は（2）による（3）刈りが行われた。金属器は、主に（4）が農具や武器に、（5）が祭器に用いられた。農業による富の蓄積は村同士の抗争・統合をうながし、各地に（6）集落や高地性集落が出現した。低い墳丘の周囲に溝をめぐらした（7）と呼ばれる首長の墳墓も出現した。

1 乾田、2 石包丁、3 穂首、4 鉄器、5 青銅器、6 環濠、7 方形周溝墓

## 倭国の誕生☆Mini 日本史 2009.05.08

紀元前後、中国（漢）から（1）とよばれた今の日本各地には小国が分立し、西暦 57 年には（2）国王が後漢の（3）帝に使者を派遣し、印綬を授けられた。107 年、（1）国王帥升らが後漢の（4）帝に使者を派遣し、（5）を 160 名献上した。2 世紀半ばから列島各地では内乱が起こり、「歴年主（あるじ）なし」の状態が続いた。

1 倭、2 奴、3 光武、4 安、5 生口

## 邪馬台国連合☆Mini 日本史 2009.05.09

倭国内乱の末、邪馬台国連合が成立した。女王（1）は（2）と呼ばれた呪術で政治を行い、「男弟」がこれを補佐した。『(3)』には、（1）が 239 年に魏から「(4)」の金印紫綬と銅鏡 100 枚を授与された記事がある。近畿周辺で出土の（5）鏡はこの時のものとされるが、連合の中心地については、（6）説と近畿説の 2 説や、（6）から近畿へ移動したとする説など諸説ある。

1 卑弥呼、2 鬼道、3 魏志倭人伝、4 親魏倭王、5 三角縁神獣、6 九州

## 古墳の発生☆Mini 日本史 2009.05.10

4 世紀、西日本を中心に画一性のある（1）墳、（2）式石室、鏡・（3）など呪術的な副葬品、（4）埴輪などを特色とする古墳が出現した。このことは、西日本の豪族らの政治連盟＝ヤマト政権が誕生したことを示すもので、その盟主は、箸墓などで知られる（5）山麓<奈良県桜井市>を基盤とし、各地の王の上に立つ意味をもつ（6）とよばれていたと考えられている。

1 前方後円、2 竪穴、3 玉、4 円筒、5 三輪、6 大王

古墳の発展☆Mini 日本史 2009.05.11

5 世紀の中期古墳の特徴は、墳丘の巨大化、武具・(1) など軍事的な副葬品などである。築造地域も関東や九州南部に広がった。これを、(2) 伝承などが伝えるヤマト政権の国土統一戦争によるとする説もある。政権の中心地も、大陸に通じる瀬戸内海の玄関であり、大仙陵・誉田山の両古墳が築かれた大阪平野に移ったと考えられる。

1 馬具、2 ヤマトタケルノミコト

5 世紀の王権☆Mini 日本史 2009.05.12

高句麗の(1) 碑文は、391 年以降の倭の朝鮮半島侵略を伝えている。この頃までに成立したヤマト王権は、前期古墳の分布から、近畿や(2) 沿岸部の豪族らの連合政権と考えられる。5 世紀に中国南朝に相ついで朝貢した(3) のうち、武は、埼玉県(4) 古墳や熊本県(5) 古墳出土の刀剣に「ワカタケル大王」と記された(6) 天皇に比定されている。

1 好太王、2 瀬戸内海、3 倭の五王、4 稻荷山、5 江田船山、6 雄略

古墳文化の変質☆Mini 日本史 2009.05.13

6 世紀以降の後期古墳の特徴は、朝鮮半島の影響をうけた(1) 式石室、壁画などをもつ装飾古墳、人物・動物などをかたどった(2) 埴輪、(3) 須恵器など日用品を副葬品としている点などである。また、有力農民層も(4) と呼ばれる古墳群を造営したと考えられている。7 世紀になると、儒教の薄葬思想や仏教の広がり(寺院建立)により、古墳はしだいに縮小化に向かった。

1 横穴、2 形象、3 土師器、4 群集墳

渡来文化☆Mini 日本史 2009.05.14

主に朝鮮半島から倭に移住・亡命した渡来人のうち、王仁・阿知使主・弓月君をそれぞれ祖とする(1)(2)(3) 氏はヤマト王権で重要な役割を果たした。漢字や仏教、医・(4) 暦のほか、(5) 博士と総称された人々が儒教を伝えた。朝鮮系の灰色で硬質の(6) 器も陶部らによって生産され、国産土器の(7) 器とならんで使用された。

1 西文、2 東漢、3 秦、4 易、5 五経、6 須恵、7 土師

土地と人民☆Mini 日本史 2009.05.15

大王の直轄地 (1) は (2) とよばれる農民が耕作した。豪族の私有地の (3) は (4) とよばれる私有民が耕作した。また、(5)・子代とよばれる農民が豪族らから献上されて大王や王族に支配された。専門的な技術者集団は (6) に編成され、特定の仕事を担当する集団は伴とよばれて (7) に統率された。豪族の多くは (8)・県主などに任命されて地方を支配した。

1 屯倉、2 田部、3 田荘、4 部曲、5 名代、6 品部、7 伴造、8 国造

仏教公伝☆Mini 日本史 2009.05.16

わが国に仏教が公伝されたのは、百済の (1) 王から日本の (2) 天皇の時である。公伝年については、『日本書紀』の (3) 年説、『上宮聖徳法王帝説』『元興寺縁起』の (4) 年説の 2 説があり、後者が有力視されている。仏教受容の是非をめぐり、崇仏派の (5) と廃仏派の (6) が争い、次代にも影響を与えた。

1 聖明、2 欽明、3 - 552、4 - 538、5 蘇我稲目、6 物部尾輿

6 世紀の王権☆Mini 日本史 2009.05.17

6 世紀初頭、近江や北陸を基盤とする豪族 (オオド) がヤマト王権の首長＝大王の座についた。『日本書紀』が「(1) 天皇」と記す人物である。同時期、朝鮮半島の (2) と結んだ九州の豪族 (3) が新王朝に反乱を起こした。(1) の死後、大王家は分裂したとされるが、最終的に (4) 大王 (天皇) がヤマト王権を継承した。(4) の時、百済の (5) 王から仏教が公伝された。

1 継体、2 新羅、3 筑紫国造磐井、4 欽明、5 聖明

### 蘇我・推古政権☆Mini 日本史 2009.05.18

初の女帝で蘇我氏の血をうけた(1)天皇(大王)が即位すると、同じく蘇我氏の血を濃くうけた厩戸王(聖徳太子)が政権に参画し、大臣の蘇我(2)とともに国政を主導した。603年に位階制の源流となる(3)の制、604年に(4)が制定され、大王中心の政治体制や仏教興隆などが説かれた。607年には遣隋使(5)が隋の皇帝(6)に派遣され、外交上対等の姿勢を示した。

1 推古、2 馬子、3 冠位十二階、4 憲法十七条、5 小野妹子、6 煬帝

### 飛鳥文化☆Mini 日本史 2009.05.19

飛鳥文化は中国の(1)時代の影響をうけた初の仏教文化である。蘇我馬子建立の1塔3金堂の(2)寺には(3)作の釈迦如来像が、厩戸王建立の(4)寺には(5)像が、天寿国繡帳で知られる中宮寺や秦氏の(6)寺には(7)像がある。高句麗僧(8)は紙・墨等を、百濟僧(9)は暦を伝えた。厩戸王は法華経・維摩経・勝鬘教の注釈書の(10)を著した。

1 南北朝、2 飛鳥、3 鞍作鳥、4 法隆、5 釈迦三尊、6 広隆、7 半跏思惟、8 曇徴、9 観勒、10 三経義疏

### 大化改新☆Mini 日本史 2009.05.20

645年の乙巳の変で(1)・(2)父子が滅ぼされた直後に即位した(3)天皇(大王)は、都を(4)にうつし、初めて年号(大化)を採用した。翌646年の改新の詔では、公地公民制の採用など新政権の指針が示された。しかし、(3)と対立した姉の皇極(前大王)とその子(5)が飛鳥に帰還したため、改新政治は停滞した。(3)の死後、皇極が(6)天皇として再度即位した。

1 蘇我蝦夷、2 入鹿、3 孝徳、4 難波、5 中大兄皇子、6 斉明

史料 1<大化の改新> Mini 日本史 2009.05.21

・・昔在の天皇等の立てたまへる (1) の民、処々の (2)、及び、別には臣・連・伴造・国造・村首の所有る (3) の民、処々の (4) を罷めよ。仍りて食封を大夫より以上に賜ふ・・。

・・畿内、国司、郡司、関塞、斥候、(5)、駅馬、伝馬を置き、鈴契を造り、山河を定めよ。・・

・・初めて戸籍・計帳・(6) の法を造れ。・・・・

1 子代、2 屯倉、3 部曲、4 田荘、5 防人、6 班田収授

古代アジア戦争☆Mini 日本史 2009.05.22

660 年の (1) 滅亡後、その復興を支援した (2) 皇子は 663 年に朝鮮半島に出兵し、(3) の戦いで唐・(4) 連合軍に大敗した。倭は、九州に (5) や烽火<とぶひ>を置き、大宰府北部に (6)、西国各地に朝鮮式 (7) などを築いて防衛にあたる一方で律令国家建設を進めた。668 年に (8) を滅ぼした (4) は、唐の軍隊を追放して (9) 年に朝鮮半島を統一した。

1 百濟、2 中大兄、3 白村江、4 新羅、5 防人、6 水城、7 山城、8 高句麗、9-676

壬申の乱☆Mini 日本史 2009.05.23

667 年に都を大津とした中大兄皇子は、翌年に天智天皇 (大王) として即位、(1) 令を制定、670 年に初の戸籍 = (2) を編制した。天智死後、672 年の壬申の乱で大海人皇子<天智の弟>が、(3) 皇子<天智の子>を滅ぼし、(4) 宮で (5) 天皇として即位した。684 年制定の (6) で豪族の地位を再編した。近年、出土した (7) から、初めて「天皇」を称したのは天武とする説が有力である

1 近江、2 庚午年籍、3 大友、4 飛鳥浄御原、5 天武、6 八色の姓、7 木簡

## 日本誕生☆Mini 日本史 2009.05.24

天武天皇の死後、皇后の持統天皇が即位した。父は天智天皇、母は蘇我氏出身である。689年に(1)を施行、翌690年に(2)年籍を作成、694年に初の中国式都城制にもとづく(3)に都をうつした。孫(4)天皇に位を譲った後も国政を主導し、(5)律令完成の翌年に死去、火葬されて天武陵に合葬された。わが国の国号を「倭」にかえて「日本」を採用したのも持統だと考えられている。

1 飛鳥浄御原令、2 庚寅、3 藤原京、4 文武、5 大宝

## 律令官制☆Mini 日本史 2009.05.25

律令制の中央機構は神祇官と(1)官の2官、(1)官に置かれた8省から構成された。諸国は5国(大和・山城・和泉・河内・摂津)の畿内と(2)に大別され、国・郡・里が置かれた。九州には外交・防備のため(3)、難波には(4)、京には左・右(5)、陸奥国府の多賀城には(6)が置かれた。律には、8つの大罪をさす(7)、5つの刑罰をさす(8)などが定められた。

1 太政、2 七道、3 大宰府、4 摂津職、5 京職、6 鎮守府、7 八虐、8 五刑

## 税制☆Mini 日本史 2009.05.26

(1)法にもとづき、6歳以上の人民には(2)年ごとに口分田が班給され、死後収公された。人民は、田1段あたり稲2束2把をおさめる正税の(3)、絹・糸・地方の特産物をおさめる(4)、都での歳役にかえて布をおさめる(5)のほか、国司の命で土木水利事業に従事する労役の(6)などを負担した。また、男子のうち地方の(7)で訓練を受け、(8)や防人として任地に赴くものもいた。

1 班田収授、2-6、3 租、4 調、5 庸、6 雑徭、7 軍団、8 衛士

白鳳文化☆Mini 日本史 2009.05.27

白鳳文化は中国の（1）文化の影響をうけている。仏教保護が進み、官立の大官大寺・（2）寺が造営された。仏像には、今は（3）寺に伝わる仏頭や、（2）寺金堂（4）像などがある。絵画には、1949年焼損の（5）壁画、1972年発見の（6）古墳壁画がある。百済の亡命貴族により漢詩が発達し、（7）皇子らが活躍した。和歌では柿本人麻呂・（8）らが活躍した。

1 初唐、2 薬師、3 興福、4 薬師三尊、5 法隆寺金堂、6 高松塚、7 大津、8 額田王

平城遷都☆Mini 日本史 2009.05.28

文武天皇の死後、母の（1）天皇〈天智の娘、持統の妹〉が即位。708年、平城京の造営・遷都を宣言、同年に銅銭貨幣（2）を鑄造させた。710年に遷都を断行。翌年に貨幣流通の促進をはかる（3）を発した。ついで即位した娘の（4）天皇〈文武の姉〉は、718年（5）律令を制定し（中心人物は藤原不比等）、律令体制の安定につとめた。724年に甥の（5）天皇に位を譲り、748年に68歳で死去した。

1 元明、2 和同開珎、3 蓄銭叙位令、4 元正、5 聖武

遣唐使☆Mini 日本史 2009.05.29

遣唐大使〈使節の団長〉には、舒明天皇が630年に任命した第1回大使の（1）から宇多天皇が894年に任命した（2）〈遣唐使派遣の停止を建言〉まで18名が任命された。行路は（3）との関係の悪化により北路から南路に変更され航行は困難をきわめたが、中国の文物・制度導入に大きな役割を果たした。留学生として渡唐し、玄宗皇帝に重用された（4）は安南都護〈ベトナム統治の長官〉にまで進んだ。

1 犬上御田鍬、2 菅原道真、3 新羅、4 阿倍仲麻呂

東北と九州☆Mini 日本史 2009.05.30

大化改新後、日本海側に (1)・磐舟の 2 冊がおかれ、ついで斉明天皇〈大王〉の時、(2) が東北などへ遠征した。東北の人びとは (3) と呼ばれ、8 世紀前半、日本海側に (4) 国が新たに置かれ、陸奥国の国府である多賀城には (5) が置かれた。(平安初期、(5) は (6) 城に移転された。) 九州南部の人びとは熊襲や (7) と呼ばれ、8 世紀前半、(8) 国が新たに置かれた。

1 淳足、2 阿倍比羅夫、3 蝦夷、4 出羽、5 鎮守府、6 胆沢、7 隼人、8 大隅

奈良時代の政争☆Mini 日本史 2009.05.31

律令制定の功労者 (1) の 4 人の子は、729 年に左大臣の皇族 (2) を自殺させ、妹光明子〈(3) 天皇の妃〉を皇后にした。4 子死後、式家の (4) は右大臣の皇族 (5) に反発、740 年に反乱を起こした。のち、南家の (6) 〈恵美押勝〉、(7) 天皇〈孝謙上皇が復位〉に寵愛された僧 (8) が相ついで実権を握った。(7) 死後、式家の藤原百川らは (9) 天皇を即位させた。

1 藤原不比等、2 長屋王、3 聖武、4 藤原広嗣、5 橘諸兄、7 藤原仲麻呂、7 称徳、8 道鏡、9 光仁

〈史料 2〉鎮護国家☆Mini 日本史 2009.06.01

(天平十三年三月)・・・国ごとの・・・(僧寺の) 名を金光明四天王護国之寺 (=1) となし、(尼寺の) 名を法華滅罪之寺 (=2) となし、両寺相共に宜しく教戒を受くべし。→ (3) 年：(1) 建立の詔

(天平十五年)・・・それ天下の富を有つ者は朕〈(4) 天皇〉なり。天下の勢を有つ者も朕なり。この富勢をもって、この尊像を造る。」→ (5) 年：(6) の詔

1 国分寺、2 国分尼寺、3-741、4 聖武、5-743、6-大仏造立

## 土地政策☆Mini 日本史 2009.06.02

政府は、人口増加に対処するため、耕地面積と税収の増加をめざして 722 年に (1) 計画をたて、翌 723 年には (2) 法を発した。しかし、それでも効果はあがらず、743 年に (3) 法を発した。国司や地元有力者の (4) らが田地の開墾を推進するが、墾田 (初期荘園) は租をおさめる (5) 田であったことや、有力農民の台頭とともに (4) が弱体化し、しだいに衰退していった。

1 百万町歩開墾、2 三世一身、3 墾田永年私財、4 郡司、5 輸租

## &lt;史料 3&gt;公地公民の転換☆Mini 日本史 2009.06.03

(養老 7=<(1)>年) 太政官奏すらく、「天下に勸め課せて・・・その新たに溝池を造り開墾を営む者あらば・・・(2) に伝へしめん。もし旧 (ふる) き溝池を逐はばその (3) に給せん」と。

(天平 15=<(4)>年) 詔して曰く「・・・墾田は養老七年の格によりて限満つる後例によりて収授す。・・・今より以後は任に私財となし、(2) (3) を論ずること無く・・・永年取るなかれ。→法令名：(5)

1-723、2 三世、3 一身、4-743、5 墾田永年私財法

## 天平文化☆Mini 日本史 2009.06.04

天平文化は中国の (1) 文化の影響をうけている。建築には安定感のある東大寺の (2) 堂、鑑真を招いて建立された (3) 寺の金堂がある。仏像には塑像や (4) 像の技法が見られるようになった。(5) 寺の阿修羅像も (4) 像である。絵画には薬師寺の (6) 像や聖武天皇の遺愛品を納めた (7) 宝庫に伝わる (8) 屏風などがある。

1 盛唐、2 法華、3 唐招提、4 乾漆、5 興福、6 吉祥天、7 正倉院、8 鳥毛立女

平安遷都☆Mini 日本史 2009.06.05

古代最後の女帝の（1）天皇死後、天智の孫（2）天皇が即位した。その子（3）天皇は（4）京・平安京へ2度の遷都を断行し、国司交代を監察する（5）の設置や征夷事業等を行い、晩年には（6）相論を行った。その子（7）天皇は、810年、兄の（8）太上天皇の移住先である奈良を襲撃して勝利をおさめ、詔書発行の（9）所や検非違使を設置し、平安王朝の基礎を固めた。

1 称徳、2 光仁、3 桓武、4 長岡、5 勘解由使、6 徳政、7 嵯峨、8 平城、9 蔵人

弘仁・貞観文化☆Mini 日本史 2009.06.06

弘仁・貞観文化は中国の（1）文化の影響を受けている。寺院には山岳地形を利用した（2）寺などがある。絵画には、密教の教義にもとづく（3）が発達した。仏像には、一本の木で全体をつくる（4）造や特徴的な流線模様を表現した（5）式の技法が発達した。神々と仏教を融合する（6）の影響を受けた僧形八幡神像なども見られるようになった。

1 晩唐、2 室生、3 曼荼羅、4 一木、5 翻波、6 神仏習合

平安新仏教☆Mini 日本史 2009.06.07

真言宗開祖の空海は、高野山金剛峰寺や東寺（=1）を拠点に『(2)』や詩文集『(3)』などを著し、庶民教育のために（4）を開設した。天台宗開祖の最澄は大乘戒壇の設立をめざし、『(5)』を著して南都仏教を批判した。後継者の円仁（入唐記録である『(6)』の著者）・（7）らは天台宗の密教化を進めた。

1 教王護国寺、2 三教指帰、3 性霊集、4 綜芸種智院、5 顕戒論、6 入唐求法巡礼行記、7 円珍

古代の学校☆Mini 日本史 2009.06.08

律令制下では、都の大学や地方の（1）では、中央貴族や地方豪族の子弟が儒教（明経道）、文学（紀伝道、文章道）などを学んだ。（2）は私立図書館（3）を設け、上級貴族は子弟のために大学別曹を設けた。藤原氏の（4）、橘氏の学館院、在原氏や皇族の（5）、和気氏の弘文院などである。空海は庶民のため東寺付属の学校（6）を開いた。

1 国学、2 石上宅嗣、3 芸亭、4 勸学院、5 奨学院、6 綜芸種智院

北家の発展☆Mini 日本史 2009.06.09

藤原氏北家は、810年に蔵人頭となった(1)の子(2)が842年(3)の変、866年(4)の変を経て、正式に(5)天皇の摂政に就任した(事実上の就任は858年)。(2)の養子(6)は、884年に(7)天皇から事実上の(8)に任命され、887年に(9)天皇から正式に任命された際に(10)の紛議をおこした。左大臣(11)は、901年に右大臣(12)を大宰府へ左遷した。

1 冬嗣、2 良房、3 承和、4 応天門、5 清和、6 基経、7 光孝、8 関白、9 宇多、10 阿衡、11 時平、12 菅原道真

10～11世紀政治史☆Mini 日本史 2009.06.10

醍醐・村上天皇(間に朱雀天皇)の「(1)の治」では、延喜格式や古今和歌集の編さん、皇朝十二銭最後の(2)の铸造など王朝再建の政策が進められたが、969年に左大臣(3)が左遷された(4)の変以降、藤原氏の地位が安定し、11世紀の(5)・(6)父子の時に全盛期を迎えた。藤原氏の長＝(7)が継承した所領群は(8)と呼ばれ、重要な財源となった。

1 延喜・天曆、2 乾元大宝、3 源高明、4 安和、5 藤原道長、6 頼通、7 氏長者、8 殿下渡領

武士団の形成1☆Mini 日本史 2009.06.11

武士団は、鎮守府将軍や、地方(国)の役所＝(1)に国司として赴任して任期満了後は現地に居住した貴族層<清和源氏や(2)>を中心に、豪族や有力農民らを従えて勢力を広げた。10世紀前半、桓武平氏の(3)が一族との私闘の末に関東の諸国衙を支配下に置き、渤海の滅亡・契丹の成立に刺激されて「新皇」を名のり独立政権を樹立したが、同族の(4)や(5)らに討たれた。

1 国衙、2 桓武平氏、3 平将門、4 平貞盛、5 藤原秀郷

武士団の形成 2☆Mini 日本史 2009.06.12

藤原氏北家出身の(1)は伊予国司として海賊鎮定につとめたが、自ら「海賊の首領」となり瀬戸内海で反乱を起こした。平将門の乱と(1)の乱をあわせて「(2)の乱」という。清和源氏は、この乱の鎮圧で活躍した(3)が地歩を築き、その孫(4)が平忠常の乱を鎮圧、ついで(5)・(6)父子が前九年合戦・後三年合戦を鎮圧して勢力を拡大した。

1 藤原純友、2 承平・天慶、3 源経基、4 源頼信、5 源頼義、6 源義家

北方の王者☆Mini 日本史 2009.06.13

前九年合戦では、清和源氏の(1)・(2)父子が陸奥国の(3)氏やその姻戚・藤原経清を滅ぼした。ついで起きた後三年合戦では、(2)が出羽国の(4)氏の内紛に介入、(5)〈藤原経清の子〉を支援して(4)氏を滅ぼした。以後、(5)が(6)を拠点に奥州藤原氏の基礎を固めた。その支配は、基衡・秀衡・泰衡の4代100年に及び、1189年に鎌倉幕府の総攻撃を受けて滅んだ。

1 源頼義、2 源義家、3 安倍、4 清原、5 清原(藤原)清衡、6 平泉

国風文化☆Mini 日本史 2009.06.14

唐の衰退とともに日本では国風文化が発達し、安→あ、阿→アと、漢字から(1)文字がうまれた。貴族の(2)造の邸宅内には、唐絵にかわって(3)絵が描かれた。浄土教の普及とともに、(4)堂建築や(4)如来像、(5)図も発達した。(6)造の技法は仏師(7)に取り入れられた。和様の書の名手である(8)・藤原行成・小野道風は(9)とよばれた。

1 かな、2 寝殿、3 大和、4 阿弥陀、5 来迎、6 寄木、7 定朝、8 藤原佐理、9 三蹟

浄土信仰☆Mini 日本史 2009.06.15

末法思想が広がりはじめた10世紀半ば、「市聖」とよばれた僧(1)が京の市中で阿弥陀仏の信仰と極楽浄土への往生を説いた。天台宗の僧(2)の『往生要集』、慶滋保胤の『日本往生極楽記』などの書物により、浄土信仰はしだいに貴族層にも広がっていった。11世紀の権力である藤原道長の(3)寺や、その子頼通の(4)堂、日野氏の(5)寺も浄土信仰によるものである。

1 空也、2 源信、3 法成寺、4 平等院鳳凰堂、5 法界

新たな国司制度☆Mini 日本史 2009.06.16

10世紀以降、徴税の権限が強化された国司は、田地を(1)と呼ばれる単位に分けて有力農民の(2)に耕作させた。成功・(3)などの売官売位によって国司の地位を得るため、国司が都に滞在する(4)もみられた。任国で実権を握った上級国司は(5)とよばれ、『今昔物語集』の(6)や、(7)等解によって太政官に訴えられた(8)らが著名である。

1 名、2 田堵、3 重任、4 遙任、5 受領、6 藤原陳忠、7 尾張国郡司百姓、8 藤原元命

荘園整理令☆Mini 日本史 2009.06.17

藤原氏北家の氏長者を母方の親戚(=1)にもたずに即位した壮年の(2)天皇は、(3)らの学識すぐれた人々を登用し、荘園整理をめざす国司(受領)層の協力を得ながら国政改革を進めた。1069年の(4)の荘園整理令では、朝廷内に(5)を設置して藤原氏の所領も審査の対象にして、積極的に荘園整理を断行した。しかしその治世は天皇の死により4年で終りを告げた。

1 外戚、2 後三条、3 大江匡房、4 延久、5 記録荘園券契所

院政の開始☆Mini 日本史 2009.06.18

1086年に子の堀河天皇に譲位した(1)上皇は院政を開き、摂関家をおさえ、直属の武士団である(2)の武士を置き、六勝寺の先駆けをなす(3)寺を建立するなど、積極的に政務を主導した。当時、南都・奈良法師とよばれた(4)寺や北嶺・山法師とよばれた(5)寺の武装僧侶である(6)が各寺領の荘園を圧迫する国司の罷免などを求めてさかんに強訴を行なった。

1 白河、2 北面、3 法勝、4 興福、5 延暦、6 僧兵

<史料 4>寄進地系荘園☆Mini 日本史 2009.06.19

寿妙（国司などを歴任した開発領主）の末流高方の時、権威を借らむがために、実政卿を以て（1）と号し、年貢四百石を以て割き分ち、高方は庄家領掌進退の（2）職となる。・・・実政の末流願西微力の間、（3）の乱妨を防がず。この故に願西、（1）の得分二百石を以て、高陽院内親王に（4）す。・・・これ則ち（5）の始めなり。・・・<出典＝（6）>

1 領家、2 預所、3 国衙、4 寄進、5 本家、6 東寺百合文書

院政の世紀☆Mini 日本史 2009.06.20

1086 年にはじまる院政時代は、白河上皇のあと、孫の（1）上皇が娘（2）を領主とする荘園群を築くなど中世王権の基礎を築いた。こうして摂関家や公家・諸国の受領・武士団を従えた天皇家の家父長の地位は「（3）」とよばれ、（1）上皇死後の後継争いは 1156 年（4）の乱をまねき、（5）上皇と平氏政権との対立は源平争乱をまねいた。平氏滅亡は 1185 年のことである。

1 鳥羽、2 八条院、3 治天の君、4 保元、5 後白河

中世の荘園公領制☆Mini 日本史 2009.06.21

院政期の荘園整理令は、違法性を免れた荘園を国家が公認する役割を果たした。こうして国家公認の私的土地所有＝荘園と、国衙管理の（1）を基盤とする中世国家が成立した。いずれも領主は王朝国家に連なる皇族・貴族・大寺社層であった。同時代には、皇族・貴族に（1）の収益を与える（2）の制、院分国の制も見られた。平氏政権も鎌倉幕府もその経済基盤は荘園や（2）であった。

1 国衙領（公領）、2 知行国

武者 {ムサ} の世☆Mini 日本史 2009.06.22

1156年の(1)の乱は、(2)天皇と兄の(3)上皇の対立、摂関家の兄(4)と弟(5)の対立により(6)法皇の死去直後に勃発した。3年後の(7)の乱で藤原信頼と源(9)は院近臣(8)を殺害したが、平(10)に敗れた。こうして始まる時代を(4)の子(11)は『愚管抄』で「ムサの世」と表現した。

1 保元、2 後白河、3 崇徳、4 藤原忠通、5 頼長、6 鳥羽、7 平治、8 藤原通憲、9 義朝、10 清盛、11 慈円

平氏政権☆Mini 日本史 2009.06.23

平治の乱で勝利を収めた(1)は、1167年に(2)に就任し、荘園や(2)国を基盤とし、西国武士を荘園・公領等の(4)に任命した。摂津国の(5)を修築して父(6)が始めた日宋貿易の拡大もはかった。娘(7)を高倉天皇の妃として(8)天皇の外祖父になったが、後白河法皇との対立を深め、1177年、(9)事件が起きた。

1 平清盛、2 太政大臣、3 知行、4 地頭、5 大輪田泊、6 忠盛、7 徳子、8 安徳、9 鹿ヶ谷

<史料5>平氏の全盛☆Mini 日本史 2009.06.24

六波羅殿・入道相国 (=1)の御一家の君達(きんだち)と書いてしかば、花族(かしよく)も英耀(えいゆう)も面(おもて)をむかえ、肩をならぶる人なし。・・・平家(2)の国三十余箇国、既に半国にこえたり。そのほか(3)・田畠いくらという数を知ず。<(4)貿易による>楊州の金、・・・呉郡の綾、蜀江の錦、七珍万宝一として闕たる事なし。(出典=5)

1 平清盛、2 知行、3 荘園、4 日宋、5 平家物語

## 院政期の文化☆Mini 日本史 2009.06.25

院政期には、(1) とよばれた民間布教者らが浄土教を地方に伝え、福島県の (2)、大分県の (3) など地方武士による建築物をうんだ。民衆・農民や武士の成長は、説話集『(4) 物語集』、応天門に群がる民衆を描いた『(5) 絵巻』、風刺画の『(6)』などをうんだ。後白河法皇は今様を集めた『(7)』を編集した。

1 聖、2 白水阿弥陀堂、3 富貴寺大堂、4 今昔、5 伴大納言、6 鳥獸戯画、7 梁塵秘抄

## 中世の開幕☆Mini 日本史 2009.06.26

1180年、後白河法皇の子 (1) が諸国の源氏に平氏打倒の (2) を発して、(3) とともに挙兵したが敗死した。ついで、伊豆で (4)、信濃で (5) らが挙兵し、奥州藤原氏の (6) も (7) をその兄 (4) に向かわせた。以後 10 年間にわたって展開した内乱の末、(4) は 1189 年に奥州をも平定し、全国の領主 (武士) の覇者になった。3 年後、(4) は (8) に就任した。

1 以仁王、2 令旨、3 源頼政、4 源頼朝、5 源義仲、6 藤原秀衡、7 源義経、8 征夷大將軍

## 草創期の鎌倉幕府☆Mini 日本史 2009.06.27

源頼朝は、1180年に鎌倉を拠点とし、(1) の長官に和田義盛を任命した。83年「(2) の宣旨」で東国支配権を掌握し、翌84年に後の政所である(3) の長官に大江広元を、訴訟を扱う(4) の長官に三善康信をそれぞれ任命した。平氏滅亡・義経逃亡直後の85年、いわゆる「(5)・地頭」の任命権を掌握し、90年に奥州藤原氏を滅ぼし、90年に右近衛大将、92年に(6)に就任した。

1 侍所、2 寿永二年、3 公文所、4 問注所、5 守護、6 征夷大將軍

守護・地頭☆Mini 日本史 2009.06.28

源義経逃亡後の1185年11月、源頼朝は、のちに「(1)」と称される国地頭・惣追捕使を1国単位に置き、平氏側の武士が管理していた荘園・公領(=2)に地頭(荘郷地頭)を任命する権限などを掌握した。(1)の主な職務は、京都大番役などに御家人を動員する(3)や、謀叛人・殺害人の逮捕で、これらは(4)と総称された。また、承久の乱後に置かれた地頭は(5)地頭とよばれた。

1 守護、2 平氏没官領、3 大番催促、4 大犯三箇条、5 新補

北条氏の勢力拡大☆Mini 日本史 2009.06.29

源頼朝の死後、子の2代将軍(1)は母(2)によって独裁権を奪われ、1203年(3)氏の乱後に追放<翌年殺害>された。3代将軍(4)の外祖父(5)は政所長官として幕政を主導し、その子(6)は1213年に(7)を滅ぼして侍所長官も兼任した。(6)は承久の乱で追討の対象とされたが、鎌倉武士団の支持を得て乗り切った。(6)の幕政における地位は「(8)」とよばれた。

1 源頼家、2 北条政子、3 比企、4 源実朝、5 北条時政、6 北条義時、7 和田義盛、8 執権

<史料6>承久の乱☆Mini 日本史 2009.06.30

二品(=1)、家人等を簾下に招き・・・いわく。「・・・故右大將軍(=2)朝敵を征罰し、関東を草創してより以降、・・・その恩既に山岳よりも高く、溟渤よりも深し。報謝の志浅からんや。・・・今<院政の主宰者である(3)は>逆臣の讒によりて、非義の論旨を下さる。名を惜しむの族は、早く秀康・胤義等を討ち取り、三代将軍の遺跡を全うすべし。・・・<出典は(4)>

1 北条政子、2 源頼朝、3 後鳥羽上皇、4 吾妻鏡

武家の法典☆Mini 日本史 2009.07.01

1232年、執権(1)は、頼朝以来の(2)・武士社会の慣習(=3)を成文化した(4)を發布した。以後、(5)とよばれる追加法が發布された。1336年の(6)は足利尊氏の諮問への答申の形式をとった施政方針であり、室町時代においても(4)が武士社会の最高基本法典とみなされた。室町幕府開設後の追加法は(7)とよばれた。

1 北条泰時、2 先例、3 道理、4 御成敗式目(貞永式目)、5 式目追加、6 建武式目、7 建武以来追加

<史料7>御成敗式目☆Mini 日本史 2009.07.02

●右大将家(=1)の御時定め置かるる所は、(2)催促・謀叛・殺害人付たり。〈出典は(3)〉

●この式目は只(ただ)かなをしれる物の世間におほく候ごとく、・・・(4)の人へのはからひのためばかりに候。これによりて(5)の御沙汰、(6)のおきていささかもあらたまるべきにあらず候也。〈出典は執権(7)が弟の六波羅探題(8)にあてた書状〉

1 源頼朝、2 大番、3 貞永式目、4 武家、5 京都、6 律令、7 北条泰時、8 北条重時

北条時頼☆Mini 日本史 2009.07.03

祖父泰時・兄経時に続いて執権となった(1)は、1247年に有力御家人(2)を(3)合戦で滅ぼし、1249年に(4)を置いて訴訟の公正・迅速化をはかった。将軍(5)を廃して後嵯峨天皇の子(6)を将軍に迎え、執権退任後も「最明寺入道」とよばれて実権を握り、(7)専制の地歩を築いた。また、南宋の亡命僧(8)を開山とする(9)を建立した。

1 北条時頼、2 三浦泰村、3 宝治、4 引付衆、5 九条頼嗣、6 宗尊親王、7 得宗、8 蘭溪道隆、9 建長寺

地頭の在地支配☆Mini 日本史 2009.07.04

地頭は、御家人としての地位や武力を背景に、年貢納入の責任をもつ荘園・公領の一円支配をめざし、荘園領主（公家・寺社）との紛争をしばしば起こした。幕府は領主と地頭が土地を折半する（1）や地頭請所などの裁決を下したが、地頭は在地領主化を進め、南北朝動乱を経て（2）とよばれるようになった。元寇の頃、地頭湯浅氏は過酷な支配を紀伊国（3）の荘民に訴えられた。

1 下地中分、2 国人、3 阿テ（氏の下に一）河荘

モンゴル戦争☆Mini 日本史 2009.07.05

チンギスハンの孫でモンゴル帝国の君主となった（1）は、朝鮮の（2）王朝を服属させ、同国の軍人らが起こした（3）の乱の鎮圧後、日本侵攻を本格化させた。こうして1274年の（4）、1281年の（5）で日本はモンゴル軍の侵攻を受けたが、8代執権（6）〈時頼の子〉が主導する幕府は朝廷の外交権を接收し、御家人に（7）を課すなどして二度の侵攻を防いだ。

1 フビライ、2 高麗、3 三別抄、4 文永の役、5 弘安の役、6 北条時宗、7 異国警固番役

北条氏専制☆Mini 日本史 2009.07.06

北条氏本家の惣領は（1）〈義時の法名に由来〉と呼ばれ、しだいに専制色を深めた。（1）の私的会議の（2）は評定の上位とされ、（1）の家臣である（3）が地位を高めた。（3）を代表する内管領（4）〈禅門〉は、執権貞時の外戚で有力御家人（5）を1285年に滅ぼした（→事件名：（6））。貞時は後に（4）を滅ぼし、1297年には借金返済に苦しむ御家人救済のため、（7）を発した。

1 得宗、2 寄合、3 御内人、4 平頼綱、5 安達泰盛、6 霜月騒動、7 永仁の徳政令

## 皇室の分裂☆Mini 日本史 2009.07.07

13世紀後半に(1)上皇が死去すると、亀山天皇系の(2)統と後深草天皇系の(3)統が皇位や天皇家の長(治天の君)の座をめぐる争い、皇室領荘園も(3)統が長講堂領を、(2)統が(4)領を分けて継承するようになった。1317年の(5)では、幕府の調停により相互に皇位を譲り合う(6)が合意されたが、(2)統の後醍醐天皇は皇統の一本化をはかるため討幕をめざした。

1 後嵯峨、2 大覚寺、3 持明院、4 八条院、5 文保の和談、6 両統迭立

## 新興の勢力☆Mini 日本史 2009.07.08

社会の枠組みから疎外された人々のうち、陸地では、(1)とよばれた人々が荘園領主や鎌倉幕府に抵抗した。建武政権の功労者(2)も河内出身の(1)とする説がある。海では、(3)とよばれる人々が対馬・壱岐を拠点に大陸沿岸で商船への略奪行為を展開した。朝鮮では(3)討伐で活躍した(4)が(5)を倒して新王朝(李朝)を建国するなど、アジア史にも影響を与えた。

1 悪党、2 楠木正成、3 倭寇、4 李成桂、5 高麗

## 幕府滅亡☆Mini 日本史 2009.07.09

蝦夷の反乱に起因する(1)氏の乱の対処に得宗(2)や内管領(3)が苦慮するなか、1324年、(4)天皇が討幕を企てて失敗する(5)の変が起きた。1331年の(6)の変で再度討幕を企てた天皇は(7)に配流され、持明院統の(8)天皇が即位した。1333年、(9)親王や(10)らの抵抗が続くなか、有力御家人(10)・新田義貞らが裏切り、幕府は滅亡した。

1 安藤、2 北条高時、3 長崎高資、4 後醍醐、5 正中、6 元弘、7 隠岐、8 光厳、9 護良、10 楠木正成、11 足利尊氏

建武の新政☆Mini 日本史 2009.07.10

鎌倉幕府を滅ぼして「公武一統」の政策をめざした (1) 天皇は、10 世紀の (2) の治を理想とし、天皇親政を強力に進めた。所領の所有権も天皇発行の (3) によるとした。中央には、政務を総括する記録所、所領関係の訴訟を扱う (4) などを設置した。地方には、東北に (5)、関東に (6) をそれぞれ設けし、諸国には (7)・守護を併置した。

1 後醍醐、2 延喜・天曆、3 綸旨、4 雑訴決断所、5 陸奥将軍府、6 鎌倉将軍府、7 国司

<史料 8>新政への批判☆Mini 日本史 2009.07.11

●此比都ニハヤル物、夜討強盜・謀 {にせ} (1)、・・・(2) スル成出者、・・・モル、人ナキ (3)・・・京鎌倉ヲコキマセテ、一座ソロハヌエセ (4)・・・(出典は『建武年間記』)

→この史料を一般に (5) という。

●鎌倉元の如く柳営 (幕府の所在地) たるべきか、他所たるべきや否やの事。・・・居処の興廢は、政道の善悪によるべし。<出典は (6) >

1 綸旨、2 下剋上 (下克上)、3 決断所、4 連歌、5 二条河原落書、6 建武式目

南北朝動乱☆Mini 日本史 2009.07.12

1335 年 (1) の乱の鎮圧後、(2) は鎌倉で建武政権に反旗をひるがえし、36 年湊川合戦で (3) を討って入京した。大覚寺統の (4) 天皇は大和吉野に逃亡し、(2) は持明院統の (5) 上皇の弟 (6) 天皇を即位させた。ここに約 60 年続く「一天両帝・南北朝」の時代が始まった。(2) は当面の施政方針を (7) 17 か条に示し、新田義貞を討った 38 年に征夷大將軍に就任した。

1 中先代、2 足利尊氏、3 楠木正成、4 後醍醐、5 光厳、6 光明、7 建武式目

### 守護の成長☆Mini 日本史 2009.07.13

南北朝以降、守護は大犯三箇条に加えて、(1) の取締りや幕府裁決を現地で執行する (2) などを新たな職務とし、任国での警察権・裁判権をしだいに強めた。観応の擾乱時に発令された 1352 年の (3) 令 (荘園・公領の年貢の半分を守護に与えた) や守護が年貢徴収を請け負う (4) の広がり、守護を守護大名へ成長させ、守護 (5) 制と呼ばれる体制が成立した。

1 刈田狼藉、2 使節遵行、3 半済、4 守護請、5 領国

### 室町幕府☆Mini 日本史 2009.07.14

3 代将軍 (1) は、(2) 年に南北朝合体を実現し、1390 年に土岐康行を、1391 年明徳の乱で (3) を、1399 年応永の乱で (4) をそれぞれ討って将軍権力を安定させた。中央では、(5)・細川・畠山の「三管領」が重要政務を、京極・(6)・赤松・一色の「四職」が侍所長官として京の市政・軍事を担当した。関東の鎌倉府の長官 (7) は足利氏が、関東管領は (8) 氏が世襲した。

1 足利義満、2 - 1392、3 山名氏清、4 大内義弘、5 斯波、6 山名、7 鎌倉公方、8 上杉

### 日明貿易☆Mini 日本史 2009.07.15

(1) は 1401 年に明に使者を派遣して国交を開き、1404 年から朝貢形式の日明貿易が始まった。〈用いられた証票から (2) 貿易ともいう。〉 4 代将軍 (3) は朝貢に反対して貿易を中断したが、6 代将軍 (4) が再開した (1432 年)。その後、大内氏と結んだ (5) 商人と細川氏と結んだ (6) 商人が競合、1523 年の (7) 以降は (5) 商人が貿易を独占した。

1 足利義満、2 勘合、3 義持、4 義教、5 博多、6 堺、7 寧波の乱

将軍犬死☆Mini 日本史 2009.07.16

くじ引きで1428年に6代将軍に就任した(1)は、(2)貿易を再開し、1438年の(3)の乱で鎌倉公方(4)を滅ぼし、1440年の(5)合戦を鎮圧して将軍權威の回復をはかったが、周囲に「万人恐怖」の不安・不満を与えた。1441年、(1)は有力守護(6)の自邸で殺害された。この一連の事件・内乱を(7)の変(乱)という。

1 足利義教、2 勘合、3 永享、4 足利持氏、5 結城、6 赤松満祐、7 嘉吉

日本史の断層☆Mini 日本史 2009.07.19

15世紀後半の「(1)・文明の乱」以後、公家・武家を支配層とする形式的な支配が終わりを告げ、以後は実力を持つ支配層(戦国大名・国人領主層など)が各地の支配層として君臨した。三管領の細川・畠山の両氏と並ぶ(2)氏では、越前守護代の(3)氏、尾張守護代の(4)氏が勢力を広げた。

1 応仁、2 斯波、3 朝倉、4 織田

応仁・文明の乱☆Mini 日本史 2009.07.18

応仁・文明の乱<1467-1477>の原因は、管領家(1)・(2)両氏それぞれ内部の家督争い、8代将軍(3)後継の座をめぐる子(4)<母は(5)>と弟(6)の争い、管領(7)と侍所の(8)の幕政をめぐる争いなどであった。乱後、朝廷・幕府(王法)や既成仏教(仏法)の權威は失墜し、諸国では守護代や国人らが守護大名の地位をおびやかすようになった。

1・2 斯波、畠山、3 足利義政、4 義尚、5 日野富子、6 義視、7 細川勝元、8 山名持豊

中世の湊☆Mini 日本史 2009.07..20

中世を代表する港（湊）には、守護大名（大内氏や細川氏）の保護を受けて日明貿易をにない自治都市として発展した大宰府外港の（1）・和泉国の（2）、伊勢湾沿いの桑名く「十楽の津」く・（3）く中世三津の1つく・大湊、蝦夷ヶ島進出の拠点で安藤（安東）氏が支配した津軽（4）などがある。近世前期に壊滅した備後国の（5）町遺跡も有名である。

1 博多、2 堺、3 安濃津、4 十三湊、5 草戸千軒

中世の一揆☆Mini 日本史 2009.07.21

中世の一揆には、地方領主の（1）らが団結して守護に抵抗した（1）一揆や、（2）令の発布を求めて民衆が蜂起した（2）一揆、1485年に南山城地方の（1）・民衆が守護畠山氏を追放した（3）一揆、1488年に浄土真宗門徒らが守護富樫政親を倒した（4）一揆、京都の日蓮宗門徒が結束して自治を実現した（5）一揆などがある。一揆には、「目的を一つにする」という意味がある。

1 国人、2 徳政、3 国、4 一向、5 法華

<史料9>土一揆☆Mini 日本史 2009.07.22

（正長元年9月）くく天下の土民蜂起す。（1）と号し、（2）・（3）・寺院等を破却せしめ、雑物等ほしいままにこれを取り、借錢等ことごとくこれを破る。くくおよそ亡国の基、これに過ぐべからず。日本開白{かいびやく}以来、土民蜂起これ初めなり。（出展：<4>）

1 徳政、2 酒屋、3 土倉、4 大乘院日記目録

中世の自治都市☆Mini 日本史 2009.07.24

中世には、「民衆の自治」が広くみられた。和泉の港町(1)の市政は(2)とよばれた36人の豪商が運営し、古代大宰府の外港として発展した博多の市政は12人の(3)が運営し、伊勢湾岸の桑名・(4)も自治都市であった。村落では、畿内周辺に(5)が発達した。国・郡単位では、1485年(6)・1488年(7)、伊賀の惣国一揆など、国人・民衆らによる自治支配がみられた。

1 堺、2 会合衆、3 年行司、4 大湊、5 惣村、6 山城の国一揆、7 加賀の一向一揆

<史料10>自治都市☆Mini 日本史 2009.07.25

(1)の町は甚だ広大にして大なる商人多数あり。この町は(2)市の如く執政官{=(3)や納屋衆をさすと考えられる}により治めらる。・・・他の諸国において動乱あるも、この町にはかつて無く、敗者も勝者も、この町に来住すれば皆平和に生活し、諸人相和し、他人に害を加うる者なし。(出典『耶蘇会士日本通信』)

→史料が書かれた数年後の1568年、(4)の軍勢がこの町を包囲した。

1 堺、2 ベニス、3 会合衆、4 織田信長

戦国大名1☆Mini 日本史 2009.07.27

守護大名や守護代、地方領主の(1)などから成長した戦国大名は、(2)制とよばれる家臣団編制や、軍役を銭で換算する(3)制、耕作地を自主申告させる(4)検地などを行い、領国支配を強めた。分国法には家臣間の私闘を否定する(5)が明記された。越前の(6)氏の城下町(7)は、発掘調査によって、発達した城下町であることが判明した。

1 国人、2 寄親寄子、3 貫高、4 指出、5 喧嘩両成敗法、6 朝倉、7 一乗谷

戦国大名 2 ☆Mini 日本史 2009.07.28

守護大名や守護代、地方領主の(1)などから成長した戦国大名は、(2)制とよばれる家臣団編制や、軍役を銭で換算する(3)制、耕作地を自主申告させる(4)検地などを行い、領国支配を強めた。分国法には家臣間の私闘を否定する(5)が明記された。越前の(6)氏の城下町(7)は、発掘調査によって、発達した城下町であることが判明した。

1 国人、2 寄親寄子、3 貫高、4 指出、5 喧嘩両成敗法、6 朝倉、7 一乗谷

<史料 11>戦国家法(分国法) ☆Mini 日本史 2009.07.29

- 朝倉孝景条々「・・・朝倉が館のほか国内に城郭を構えさせまじく候。惣別分限あらん者、(1)へ引越、郷村には代官ばかり置かるべきこと」
- 今川仮名目録「(2)に及ぶ輩、理非を論ぜず両方ともに死罪に行うべきなり」→甲斐(3)氏の家法=甲州法度之次第にも同様の規定がある。
- 陸奥伊達氏の家法=(4)「百姓、地頭の年貢所当相つとめず他領へ罷り去る事、盗人の罪科たるべし」

1 一乗谷、2 喧嘩、3 武田、4 塵芥集

鎌倉文化 ☆2009.07.30

源平合戦の時、平重衡{しげひら}の奈良=南都焼打ちにより東大寺大仏殿・大仏が焼失した。後白河法皇から東大寺再建の勸進を命じられた僧(1)は、活発的な資金集めを行って再建を遂げるとともに、(2)様式でしられる東大寺南大門、運慶・(3)らによる金剛力士像を世に出す役割を果たした。こうした南都の復興は古代の写実的な天平文化の復興でもあり、西洋のルネサンスに似通うものがある。

1 重源、2 大仏、3 快慶

鎌倉新仏教☆Mini 日本史 2009.07.31

浄土宗開祖（1）は『2』を著して専修念仏を、浄土真宗開祖（3）は『4』を著して悪人（5）説を、時宗開祖（6）は踊念仏をそれぞれ広めた。法華宗開祖の（7）は『8』を著して題目を広めた。禅を宋から取り入れた臨済宗開祖（9）は『10』を著し、曹洞宗開祖（11）は『12』を著して（13）を説いた。

1 法然、2 選択本願念仏集、3 親鸞、4 教行信証、5 正機、6 一遍、7 日蓮、8 立正安国論、9 栄西、10 興禅護国論、11 道元、12 正法眼蔵、13 只管打坐

<史料 12>親鸞の教え☆Mini 日本史 2009.08.01

（今号は読下し文混じり）私（親鸞）は、念仏を唱えることで浄土に行けるのか、地獄に落ちることになるのか、私は全く知らない（存知せざるなり）。たとえ師の（1）上人にだまされて念仏を唱えて地獄に落ちたとしても後悔はしない。・・・「善人でさえ往生を遂げる。いはんや（2）をや」と・・・<出典：『3』-著者は（4）>  
上記の「」は一般に親鸞の語とされるが、（1）の語とする説もある。

1 法然、2 悪人、3 歎異抄、4 唯円

旧仏教の革新☆Mini 日本史 2009.08.02

鎌倉時代には、旧仏教界（南都仏教）でも革新運動がおこった。法相宗の（1）や華嚴宗の（2）は戒律を尊重して新仏教に対抗した。律宗の叡尊やその弟子（3）は奈良の（4）寺を拠点に貧民・病人の救済・治療活動を行った。（3）は鎌倉にも進出して極楽寺を拠点に布教活動を行い、奈良に当時差別されたらい病（ハンセン病）患者らの救済施設として（5）をたてた。

1 貞慶、2 高弁、3 忍性、4 西大、5 北山十八間戸

鎌倉期の文学・歴史 Mini 日本史 2009.08.03

鎌倉時代の「隠者の文学」を代表するものに鴨長明『1』、吉田兼好『2』などがある。軍記物・歴史には平氏の興亡を描いた『平家物語』、鎌倉幕府が正史として編纂した『3』、撰関家出身の天台座主（4）が歴史を「道理」で論じた『5』、虎関師錬が著した仏教史論書の『6』などがある。

1 方丈記、2 徒然草、3 吾妻鏡、4 慈円、5 愚管抄、6 元亨釈書

南北朝文化☆Mini 日本史 2009.08.04

南北朝時代の歴史書には、公家の立場から描いた四鏡最後の『(1)』、武家の立場から描いた『(2)』、(3)が南朝の正統性を主張した『(4)』がある。軍記物語には『(5)』があり、後に(5)読みと呼ばれた講釈師が活躍した。鎌倉幕府の側に立つ書物がなく、最後の得宗（6）には、日々鬪犬に興じた暗愚な政治家というイメージがある。

1 増鏡、2 梅松論、3 北畠親房、4 神皇正統記、5 太平記、6 北条高時

北山文化☆Mini 日本史 2009.08.05

北山文化は、寝殿造と禅宗様式からなる（1）のように、公家・武家両文化の融合がみられた文化である。仏教では臨済宗が保護され、（2）文学などが生まれた。公家の（3）は『菟玖波集』を撰集し、連歌の地位を高めた。水墨画では、明兆・周文や『瓢鮎図』の作者（4）らが活躍した。猿能楽は（5）とその子で芸術理論書『(6)』の作者世阿弥が大成した。

1 金閣、2 五山、3 二条良基、4 如拙、5 観阿弥、6 風姿花伝

東山文化☆Mini 日本史 2009.08.06

東山文化を代表する建築物が、(1) 造で知られる銀閣の (2) 同仁齋である。「一視同仁」には人間平等という意味があり、8 代将軍 (3) が当時 (4) などとよばれて卑賤視された人びとを (5) 衆に登用し、その才能を (6) と呼ばれた芸術的な庭づくりに従事させたことと関わっている。同時期には (7) が禅宗から解放された芸術的な水墨画様式をうちたてている。

1 書院、2 東求堂、3 足利義政、4 河原者、5 同朋、6 枯山水、7 雪舟

庶民文化の台頭☆Mini 日本史 2009.08.07

下位の者が力をもつ (1) とよばれる風潮は、庶民文化の台頭をうながした。演劇では能の合間に演じられる風刺性の強い喜劇の (2) が、文学では『一寸法師』などの (3) が流行した。連歌でも (4) が自由な気風をもつ俳諧連歌をつくりだした。庶民の間では、幸若舞・古浄瑠璃・小歌<『(5)』が編集された>や、盆踊り・風流踊などが流行した。

1 下剋上、2 狂言、3 御伽草子、4 山崎宗鑑、5 閑吟集

<史料 13>中世民衆の文化☆Mini 日本史 2009.08.08

・「盗人 {ぬすつと} を捕らえてみれば我が子なり」一出典は山崎宗鑑編集の『1』  
 ・「なにせうぞ、くすんで、一期 {いちご} は夢よ、ただ狂 {くる} へ」「世間 {よのなか} はちろりに過ぐる、ちろりちろり」一出典は室町時代の小歌を集めた『2』  
 →前者のパロディ性は後世の俳諧などに受け継がれ、後者の「ちろり」は「一瞬」の意味で現代の「ちらり」に通じるものがある。

1 犬筑波集、2 閑吟集

### 戦国期の地方文化☆Mini 日本史 2009.08.09

応仁の乱後、京の貴族が地方の戦国大名のもとへ移住したこともあり、京の文化が地方都市で開花した。代表的な城下町に、周防の大内氏の（1）や、駿河の今川氏の（2）〈現在の静岡市〉がある。（1）では書籍の出版も行われ、水墨画の大成者（3）やイエズス会宣教師（4）が滞在したことでも知られる。（2）は徳川家康が今川氏のもとで少年期を過ごした地である。

1 山口、2 駿府、3 雪舟、4 フランシスコ・ザビエル

### 中世の学校☆Mini 日本史 2009.08.10

中世の学術機関・学校として、鎌倉時代に（1）が日本・中国の書籍を集めて武蔵国に設けた私設図書館の（2）や、室町時代に関東管領（3）が再興した（4）などが知られる。（4）は戦国大名北条氏に保護され、数千人にのぼる武士の子弟らが学び、外国人宣教師は「坂東の大学」と評している。このほか、天台宗の中心寺院で多くの荘園をもつ（5）でも多くの僧が学んだ。

1 北条実時、2 金沢文庫、3 上杉憲実、4 足利学校、5 延暦寺

### 禅僧の活躍☆Mini 日本史 2009.08.11

鎌倉幕府は、臨済宗開祖（1）、建長寺開山の南宋僧（2）、円覚寺開山の南宋僧（3）らを重用した。室町時代には、天竜寺創建を足利尊氏に勧めた（4）、五山文学の（5）・義堂周信らが活躍した。彼ら禅僧は対明外交や水墨画の発展にも寄与した。江戸初期、臨済僧の金地院崇伝（「黒衣の宰相」）も1615年の（6）などの重要法令や外交文書を起草した。

1 栄西、2 蘭溪道隆、3 無学祖元、4 夢窓疎石、5 絶海中津、6 武家諸法度

絵巻物の歴史☆Mini 日本史 2009.08.12

絵巻物は、主に院政期と鎌倉期に隆盛期を迎える。院政期には、応天門の変を題材とする (1) 絵巻、紫式部作の長編小説を題材とする (2) 絵巻、信貴山縁起絵巻、動物を描いて人間社会を風刺した (3) などがある。鎌倉期には、蒙古襲来絵巻、平治物語絵巻、時宗開祖の生涯を描いた (4) 絵伝などがある。室町期代には、水墨画の大成者である (5) の四季山水図巻がある。

1 伴大納言、2 源氏物語、3 鳥獣戯画、4 一遍上人、5 雪舟

中世の女性☆Mini 日本史 2009.08.13

中世の女性では、源頼朝の妻 (1) や足利義政の妻 (2) が政界で活躍した。商業界では鎌倉御家人の所領を集めた高利貸業者の (3) にも女性の存在例がある。狂言には夫をやり込める「わわしい (たくましい) 女」が多く登場する。戦国時代、京都貴族から駿河の今川氏に嫁ぎ、『今川仮名目録』制定に関わった寿桂尼 {じゅけいに} <桶狭間の戦いで敗死した (4) の母>も名高い。

1 北条政子、2 日野富子、3 借上、4 今川義元

中世の琉球☆Mini 日本史 2009.08.14

琉球では、各地に城 {グスク} を拠点とする首長 (=1) が分立したが、しだいに (2) ・北山・南山の 3 勢力に統合され、1429 年、(2) 王の (3) が三山統一を実現し、琉球王国を創始した。15~16 世紀の琉球は明・日本とも対等外交を行う独立国であり、首都 (4) や外港那覇が栄え、(5) 王の時代に黄金時代を迎えた。この時代の歌謡はのちに (6) と呼ばれる歌謡集に収められた。

1 按司 {あじ}、2 中山、3 尚巴志、4 首里、5 尚真、6 おもろさうし

中世の蝦夷ヶ島☆Mini 日本史 2009.08.15

津軽の(1)湊を拠点に交易で栄えた(2)氏は北条氏得宗家に仕えて「蝦夷管領」ともよばれた。室町時代に蝦夷ヶ島(北海道)に進出した和人は(2)氏に支配され、渡島半島南岸に(3)とよばれた10余りの館{たて}や湊を中心とする市街地をつくった。1457年、大首長(4)らアイヌ民族の蜂起後、上之国の領主(5)氏(近世大名の松前氏の祖)が和人居住地を支配した。

1 十三、2 安藤(安東)、3 道南十二館、4 コシヤマイン、5 蠣崎

夏季特講 1<旧国名>☆Mini 日本史 2009.08.02

次の旧国名の現在の所属都道府県(解答では略)は?

a 阿波、b 安房、c 伊勢、d 因幡、e 伊予、f 石見、g 越後、h 越前、i 近江、j 尾張、k 甲斐、l 上野、m 讃岐、n 周防、o 駿河、p 丹後、q 播磨、r 常陸、s 肥後、t 安芸

a 徳島、b 千葉、c 三重、d 鳥取、e 愛媛、f 島根、g 新潟、h 福井、i 滋賀、j 愛知、k 山梨、l 群馬、m 香川、n 山口、o 静岡、p 京都、q 兵庫、r 茨城、s 熊本、t 広島

夏季特講 2<干支{かんし、えと}>☆Mini 日本史 2009.08.04

干支由来の用語には、391年(aの年)に始まる倭の朝鮮侵略、645年-bの変、670年-c年籍、672年-dの乱、690年-e年籍、文禄・慶長の役-f・g倭乱、高野長英-h夢物語、1868年-i戦争、1872年-d戸籍、1882年-j軍乱、1884-k事変、1894年-l農民戦争、1908年-m詔書、1911年-n革命、1924年-o園球場の完成などがある。

a 辛卯、b 乙巳、c 庚午、d 壬申、e 庚寅、f 壬辰、g 丁酉、h 戊戌、i 戊辰、j 壬午、k 甲申、l 甲午、m 戊申、n 辛亥、o 甲子

夏季特講 3<日本史の名数 1>☆Mini 日本史 2009.08.07

両統迭立-大覚寺統・a、三経義疏-法華・勝鬘・b、三管領-細川・畠山・c、三職-総裁・議定・d、3大メガバンク-三菱 UFJ ・みずほ・e、四職-京極・山名・赤松・f、国学の四大人{しうし}-荷田春満・g・本居宣長・平田篤胤、五大財閥-三井・三菱・住友・h・第一、南都六宗-華嚴・法相・俱舎・三論・成実・i

a 持明院統、b 維摩、c 斯波、d 参与、e 三井住友、f 一色、g 賀茂真淵、h 安田、i 律  
夏季特講 4 <日本史の名数 2>☆Mini 日本史 2009.08.10

六国史-日本書紀・j・日本後紀・続日本後紀・日本文徳天皇実録・日本三代実録、六勝寺-k・尊勝寺・など、日露開戦七博士-l・金井延・富井政章・小野塚喜平次ら、七道-東海・東山・北陸・m・西海・山陽・山陰、八省-中務・式部・治部・民部・兵部・n・大蔵・宮内、本朝（皇朝十二銭）-和同開珎から o、関八州-相模・p・安房・上総・下総・常陸・上野・下野

夏季特講 5<近代日本の植民地>☆Mini 日本史 2009.08.13

1895年（1）条約-台湾領有→（2）を設置：初代総督は（3）、1905年（4）条約-北緯50度以南の（5）を領有。1910年-韓国併合→それまでの統監府にかえて（6）を設置：初代総督は（7）。19年（8）条約-旧ドイツ領（9）を委任統治。51年（10）条約-沖繩、小笠原・奄美大島を除く現在の領土承認。

1 下関、2 台湾総督府、3 樺山資紀、4 ポーツマス、5 樺太、6 朝鮮総督府、7 寺内正毅、8 ヴェルサイユ、9 南洋諸島、10 サンフランシスコ平和

織田信長の天下布武☆Mini 日本史 2009.08.16

尾張守護（1）氏の守護代の一族出身の織田信長は、1568年、15代将軍となる（2）を伴って上京し、和泉の商業都市（3）を直轄領化した。また、各地の（4）撤廃、自由な商取引をはかる（5）令、多くの荘園をもつ（6）寺の焼打ち、浄土真宗の（7）本願寺との戦いなど、中世的権威を否定して印章に示した「天下布武」をめざす政策を進めた。

1 斯波、2 足利義昭、3 堺、4 関所、5 楽市・楽座、6 延暦、7 石山

<史料 14>信長の天下布武☆Mini 日本史 2009.08.17

(元亀2年=西暦(1)年)九月十二日、(2)を取詰め、根本中堂・三王二十一社を初め奉り、・・・一字に残さず、時に雲霞の如く焼き払い・・・高僧・貴僧・有智の僧と申し、そのほか、美女・小童・・・一々に頸{くび}を打ち落され、目も当られぬ有様なり。数千の屍、算を乱し、哀成{あわれな}る仕合也{しあわせなり}。(出典:『(3)公記』)

1-1571、2 叡山、3 信長

豊臣秀吉の天下統一☆Mini 日本史 2009.08.18

豊臣秀吉は、大名間の戦闘を禁じる(1)令、民衆の武器を没収する(2)令、倭寇を禁止する(3)令などを発した。これらの「平和令」と、荘園制を一掃して大名領国制を樹立した(4)検地や、身分固定を図った(5)令は近世の基礎になった。しかし、(6)・(7)の役とよばれる2度の無益な朝鮮侵略は政権分裂の原因になった。

1 惣無事、2 刀狩、3 海賊取締、4 太閤、5 身分統制(人掃)、6 文禄、7 慶長

<史料 15>秀吉の政策☆Mini 日本史 2009.08.19

・太閤検地-仰せ出され候趣、(1)・百姓どもに合点行候様によくよく申し聞すべく候。自然相届かざる覚悟の輩これあるにおいては、城主にて候わばそのもの城へ追入れ・・・一人も残し置かず撫切りに申し付くべく候。百姓以下に至るまで相届かざるについては一郷も二郷もことごとく撫切り仕るべく候。

・刀狩令-諸国百姓、(2)、脇指、弓、やり、てつはう、そのほか武具のたぐひ所持候事、堅く御停止候。

1 国人、2 刀

キリスト教の伝来☆Mini 日本史 2009.08.20

16世紀に伝来した鉄砲とキリスト教は、日本人が初めて接したヨーロッパ文化である。1575年(1)合戦にみられるように、鉄砲は天下統一を進める役割を果たした。キリスト教も、延暦寺焼打ち・石山戦争など仏教と激しく戦った(2)の保護を受けた。しかし、1587年(3)令や翌88年(4)令にみられるように、近世国家の形成過程でしだいに民衆から遠ざけられていった。

1 長篠、2 織田信長、3 バテレン追放、4 刀狩

天下分け目の戦い☆Mini 日本史 2009.08.21

秀吉の死後、朝鮮出兵での恩賞問題などが原因で、五奉行の(1)ら官僚派は福島正則・加藤清正ら武将派との対立を深めた。1600年、五大老の一人(2)は同じ五大老の上杉景勝を討つため、武将派の多くを率いて会津に向かった。しかし(1)が五大老の毛利輝元・宇喜多秀家らを味方につけて大坂で挙兵すると引き返し、美濃の(3)で(1)らと対戦し、勝利をおさめた。

1 石田三成、2 徳川家康、3 関ヶ原

徳川の天下☆Mini 日本史 2009.08.22

関ヶ原の戦い後、徳川家康は1603年に征夷大将軍に就任した。しかし、特に西日本は領地を増された豊臣系の外様大名で占められるなど、幕府権力は不安定だった。幕府は(1)寺鐘銘問題を口実に1615年に秀吉の子(2)を滅ぼし、一国一城令や(3)を大名に向けて発した。以後、豊臣系大名の福島・加藤らの大名が改易され、幕府権力はしだいに強化された。

1 方広、2 豊臣秀頼、3 武家諸法度

## 幕府の機構☆Mini 日本史 2009.08.23

幕政は、最高職の(1)が置かれた時以外は、(2)が統括した。(2)を補佐する(3)、大名を監察する大目付、旗本を監察する目付、(2)とともに評定所を構成する(4)・町(江戸)・(5)の三奉行等が置かれた。地方には、朝廷や西国大名を監視した(6)、大坂・京都・駿府に城代・町奉行、伏見・長崎等に(7)奉行が置かれた。

1 大老、2 老中、3 若年寄、4・5-寺社・勘定、6 京都所司代、7 遠国

## 幕藩体制☆Mini 日本史 2009.08.24

将軍に臣従し、領国(藩)の土地・人民支配を認められた大領主が大名であり、(1)・尾張・紀伊の御三家などの(2)、徳川氏家来から昇格した(3)、関ヶ原合戦後に徳川氏に臣従した(4)などに分類された。幕府の要職は主に(3)大名や旗本が担当した。大名は小領主である家臣が土地・人民を支配する(5)制を認めていたが、しだいに(6)制へ切りかえていった。

1 水戸、2 親藩、3 譜代、4 外様、5 地方知行、6 俸禄

## 幕府と朝廷☆Mini 日本史 2009.08.25

1627年に起きた(1)事件は、大徳寺の僧(2)の流罪、(3)天皇の退位などを経て、徳川秀忠の外孫・興子内親王が(4)天皇として即位<9世紀ぶりの女帝>することになる。近世における朝廷と幕府の関係は、この事件や18世紀末に(5)天皇が父の典仁親王に太上天皇の尊号を授けることに老中松平定信が反対した「尊号一件」をのぞいては、比較的良好であった。

1 紫衣、2 沢庵、3 後水尾、4 明正、5 光格

## 士農工商☆Mini 日本史 2009.08.26

(1)・帯刀などの特権をもつ支配階級の武士には、将軍・大名から下級武士まで厳格な上下関係があり、一般平民の「農・工・商」も同じく、本百姓と(2)百姓、商家の番頭・手代・丁稚、職人の親方・弟子など厳格な差があった。城下町では武家地・寺社地・(3)地が明確に区分された。賤民階級の穢多・(4)は、身分制維持のために民衆の不満をそらすねらいがあったとされている。

1 苗字、2 水呑、3 町人、4 非人

文治政治☆Mini 日本史 2009.08.27

1651年、3代将軍家光が死去して（1）が4代将軍を継承した直後に起きた（2）の乱を契機に幕府は（3）の禁を緩和し、大名の改易・牢人の増加をおさえるようになった。また、主君を追って自殺する（4）を禁止して戦国遺風の除去にもつとめた。当時、岡山の（5）、会津の（6）、加賀の（7）、水戸の（8）など、学問を重視した名君が活躍した。

1 徳川家綱、2 由井正雪、3 末期養子、4 殉死、5 池田光政、6 保科正之、7 前田綱紀、8 徳川光圀

元禄時代☆Mini 日本史 2009.08.28

江戸幕府5代将軍（1）は、儒学の祖・孔子をまつる（2）を創設して大学頭（3）に管掌させ、儒学の振興をはかった。（1）は、極端な動物愛護を民衆に強いる（4）や近親者の喪に服す（5）などを発布し、勘定吟味役（6）の建言によって金の含有率を下げた（7）小判を鑄造させた。浅野家遺臣の敵討ちで有名な（8）事件もこの時代の出来事である。

1 徳川綱吉、2 湯島聖堂、3 林信篤、4 生類憐みの令、5 服忌令、6 荻原重秀、7 元禄、8 赤穂

正徳の治☆Mini 日本史 2009.08.29

6代将軍（1）・7代将軍（2）の幕政は、側用人（3）や朱子学者（4）らが運営した。皇室の分家として（5）家を創設し、（6）小判の鑄造、朝鮮（7）の待遇簡素化など、将軍権威を高める政策を進めた。1715年には（8）を発して長崎貿易での金銀流出を防ごうとした。この法令により中国産（9）の輸入が減少したため、国産化が進められた。

1 徳川家宣、2 家継、3 間部詮房、4 新井白石、5 閑院宮、6 正徳、7 通信使、8 海舶互市新例、9 生糸

<史料 16>武家諸法度☆Mini 日本史 2009.08.30

「大名小名、在江戸交替、相定ル所也。毎歳夏四月中参勤致スベシ。従者ノ員数近来甚ダ多シ、且ハ国郡ノ費、且ハ人民ノ劳也。向後其ノ相応ヲ以テ、之ヲ減少スベシ。」

→これは3代将軍(1)が1635年に改訂した武家諸法度(2)令におさめられた(3)に関する規定である。

「文武忠孝を励し、礼儀を正すべきの事。」

→これは5代将軍(4)が改訂した武家諸法度(5)令である。

1 徳川家光、2 寛永、3 参勤交代、4 徳川綱吉、5 天和

<史料 17>「鎖国」体制☆Mini 日本史 2009.08.31

1633年法令ー「異国え(1)船のほか、舟遣{つかわ}すの儀、かたく停止{ちょうじ}の事」

(2)年法令ー「異国江{え}日本の船遣すの儀、堅く停止の事。・・・異国江渡り住宅仕り之有{これあ}る日本人来り候{そうら}はば死罪申し付くべき事」

1639年法令ー「自今以後、かれうた<=(3)船>渡海の儀、之を停止せられ訖{おわんぬ}」

1 奉書、2-1635、3 ポルトガル

享保改革☆Mini 日本史 2009.09.01

幼少の7代将軍家継の死後、徳川家康のひ孫で和歌山藩主(1)が8代将軍となった。彼が行った享保改革では、諸大名に米を献上させる(2)や、人材登用策の(3)、金公事{金銭訴訟}を受理しないとする(4)令、検見法にかわる(5)法の採用などがみられた。また(6)で裁判基準を示し、(7)への投書を採用して(8)養生所や町火消を新設した。

1 徳川吉宗、2 上米、3 足高、4 相对済し、5 定免、6 公事方御定書、7 目安箱、8 小石川

田沼時代☆Mini 日本史 2009.09.02

9代家重・10代(1)の時に側用人・老中に進んだ田沼意次は、商工業者団体の(2)を積極的に結成させ、営業税の(3)・(4)を徴収して幕府財政の再建を図った。彼はまた、金貨中心の貨幣制度をめざした(5)鑄造、商人資本による印旛沼・(6)沼干拓、『赤蝦夷風説考』作者(7)の意見による(8)開発・ロシア人との交易など、商業重視政策を進めた。

1 家治、2 株仲間、3・4-運上・冥加、5 南鐮式朱銀、6 手賀、7 工藤平助、8 蝦夷地

江戸時代の民衆運動☆Mini 日本史 2009.09.03

江戸時代の民衆運動には、佐倉惣五郎ら(1)伝承をもつ17世紀の(2)一揆、多くの村が団結した(3)一揆、都市商人を襲撃した(4)、村役人に対する民主化運動である(5)、19世紀に大坂特権商人を訴えた合法的な訴願である(6)、幕末の(7)一揆などがある。飢饉には、虫害による西日本の(8)の飢饉、冷害による東北の(9)の飢饉などがある。

1 義民、2 代表越訴型、3 惣百姓、4 打ちこわし、5 村方騒動、6 国訴、7 世直し、8 享保、9 天明

農村の変化☆Mini 日本史 2009.09.04

江戸中期以降の農村では、(1)の禁令にもかかわらず、(2)の方法で事実上の田畑売買が行われ、小作人に転落する農民も現れた。その一方で、(3)手作や田畑を多く集めて村役人から豪農に成長するものが現れた。商業活動も展開した豪農は(4)商人とよばれた。こうした階層分化は豪農と一般農民との対立を生み、(5)騒動とよばれる村政の民主化運動が各地で起こった。

1 田畑永代売買、2 質流し、3 地主、4 在郷、5 村方

## 寛政改革☆Mini 日本史 2009.09.05

8代吉宗の孫にあたる白河藩主(1)は11代将軍(2)を補佐する老中として寛政改革を進めた。諸国の(3)・義倉に米穀を蓄えさせた(4)や、(5)奨励令を出して農村復興をめざし、江戸(6)に人足寄場を設けて治安維持につとめた。また、(7)に旗本・御家人への貸金を破棄させた(8)令、聖堂学問所などで朱子学以外の講義を禁じる(9)も定めた。

1 松平定信、2 家斉、3 社倉、4 囲米、5 旧里帰農、6 石川島、7 札差、8 棄捐、9 寛政異学の禁

## 幕府崩壊の序曲☆Mini 日本史 2009.09.06

寛政改革の後、11代将軍(1)は、1805年に(2)を置いて治安維持につとめ、1827年には(3)の結成を命じて農村秩序の維持をはかった。子家慶の12代将軍就任後も「(4)」とよばれる放漫な政治を行った。〈江戸の町人中心の化政文化を生んだ。〉同時期の1837年、大坂町奉行所元与力の陽明学者(5)、越後柏崎の国学者(6)らの相つぐ反乱は、幕府崩壊の序曲でもあった。

1 徳川家斉、2 関東取締出役、3 寄場組合、4 大御所、5 大塩平八郎、6 生田万

## 天保改革☆Mini 日本史 2009.09.07

老中(1)の天保改革では、物価統制をめざした(2)解散令、農村復興のため出稼ぎ者を郷里へ強制的に帰還させた(3)の法、アヘン戦争後のイギリス船への緩和策である天保の(4)令、財政安定・国防強化のため江戸・大坂周辺を直轄領に編入しようと試みた(5)令などが発令された。しかし諸大名や旗本の反発にあって(1)は引退した。

1 水野忠邦、2 株仲間、3 人返し、4 薪水給与、5 上知

桃山文化☆Mini 日本史 2009.09.08

大名や豪商の力を背景に城郭建築が発達し、高層の(1)が築かれた。城内は濃絵の豪華な(2)画で飾られ、『唐獅子図』『洛中洛外図』の作者(3)やその門人(4)、長谷川等伯・(5)らが活躍した。茶道では(6)の作法を(7)が大成し、出雲阿国による阿国(8)、琉球伝来の(9)を使った人形(10)、隆達節などが生まれた。

1 天守閣、2 障壁、3 狩野永徳、4 狩野山楽、5 海北友松、6 侘茶、7 千利休、8 歌舞伎、9 三味線、10 浄瑠璃

寛永文化☆Mini 日本史 2009.09.09

寛永期の代表的建築物には、書院造と茶室建築を融合させた数寄屋造の(1)・修学院離宮、権現造の霊廟建築をもつ(2)などがある。絵画では狩野探幽や、京都の(3)が『風神雷神図』などを描いた。(4)は徳川家康から拝領した京都郊外の地に芸術村を開き、(5)焼の茶碗に優れた作品を残した。有田焼では、(6)が赤絵の技法を完成させた。

1 桂離宮、2 日光東照宮、3 俵屋宗達、4 本阿弥光悦、5 楽、6 酒井田柿右衛門

華夷変態☆Mini 日本史 2009.09.10

17世紀半ば、中国周辺の満州族の清が漢民族の(1)を滅ぼして大陸を統一した。日本ではこれを中華と夷狄(いてき)が交代、すなわち「華夷変態」であるとして、わが国こそ真の「中華」であるとする主張が、古学派の儒学者で『中朝事実』を著した(2)などによって唱えられた。近松門左衛門は、(1)の遺臣で日本人を母(平戸出身)にもつ鄭成功を主人公とする『(3)』を完成させた。

1 明、2 山鹿素行、3 国姓(性) 爺合戦

元禄文学☆Mini 日本史 2009.09.11

井原西鶴は好色物の『好色一代男』、武家物の『武道伝来記』、(1)物の『日本永代蔵』などを、近松門左衛門は人形(2)や歌舞伎の脚本として世話物の『曾根崎心中』、(3)物の『国性(姓)爺合戦』などを発表した。(2)から(4)節が生まれ、歌舞伎では江戸で初代(5)が荒事で活躍した。伊賀出身の(6)は蕉風俳諧を確立し、紀行文『奥の細道』を残した。

1 町人、2 浄瑠璃、3 時代、4 義太夫、5 市川団十郎、6 松尾芭蕉

近世儒学☆Mini 日本史 2009.09.12

近世儒学のうち、朱子学派は京都相国寺の僧(1)が還俗して禅宗から儒学を独立させ、弟子(2)が徳川家康に仕えて発展する。朱子学一派の南学では垂加神道を創始した(3)・野中兼山、(4)学派では中江藤樹・(5)、孔子・孟子の原典を重視する古学派では山鹿素行、京都の(6)・東涯父子、8代将軍吉宗に登用された(7)らが活躍した。

1 藤原惺窩、2 林羅山、3 山崎闇斎、4 陽明、5 熊沢蕃山、6 伊藤仁斎、7 荻生徂徠

学問の隆盛☆Mini 日本史 2009.09.13

近世前・中期には、林羅山ら『本朝通鑑』・新井白石『(1)』など史書・歴史学、宮崎安貞『(2)』・(3)『大和本草』など本草学、(4)『発微算法』など和算(日本数学)が発達した。天文学では(5)〈安井算哲〉は日本独自の(6)暦をつくった。国学では戸田茂睡、『万葉集代匠記』の(7)、『源氏物語湖月抄』の(8)らが活躍した。

1 読史余論、2 農業全書、3 貝原益軒、4 関孝和、5 渋川春海、6 貞享、7 契沖、8 北村季吟

## 大名と学者 ☆Mini 日本史 2009.09.14

幕藩体制下、朱子学者で幕政や藩政に参画した人物として、会津藩主保科正之に招かれた (1) <南学派>、加賀藩主前田綱紀に招かれた (2) <京学派>、6代・7代将軍の侍講 (3)、対馬藩の外交官・儒官 (4) らがいる。古学派では、『武家事紀』『聖教要録』『中朝事実』の著者で赤穂藩浅野家に招かれた (5)、8代将軍に幕政改革意見書『政談』を示した (6) <古文辞学派>らがいる。

1 山崎闇斎、2 木下順庵、3 新井白石、4 雨森芳洲、5 山鹿素行、6 荻生徂徠

## 化政期の文学 1 ☆Mini 日本史 2009.09.15

寛政期に洒落本『仕懸文庫』の (1) や黄表紙『金々先生栄花夢』の (2)、天保期に人情本『春色梅児誉美』の (3) や合巻『修紫田舎源氏』の (4) が処罰された。読本の (5) 『雨月物語』、(6) 『南総里見八犬伝』、滑稽本の (7) 『東海道中膝栗毛』、(8) 『浮世風呂』が当時出版された。

1 山東京伝、2 恋川春町、3 為永春水、4 柳亭種彦、5 上田秋成、6 滝沢馬琴、7 十返舎一九、8 式亭三馬

## 化政期の文学 2 ☆Mini 日本史 2009.09.16

信濃の (1) は庶民的な俳句を『おらが春』におさめ、(2) らは川柳を編集し、(3) ・石川雅望らは風刺的な狂歌をつくった。演劇作家では、18世紀前半に浄瑠璃『仮名手本忠臣蔵』の (4)、化政期に歌舞伎『東海道四谷怪談』の (5) があらわれ、『北越雪譜』の (6) や遊覧記で知られる (7) も活躍した。

1 小林一茶、2 柄井川柳、3 大田南畝、4 竹田出雲、5 鶴屋南北、6 鈴木牧之、7 菅江真澄

## 洋学 ☆Mini 日本史 2009.09.17

洋学は、新井白石『(1)』『采覧異言』や吉宗の (2) 輸入緩和にはじまり、杉田玄白・前野良沢らの『(3)』、(4) 『蘭学階梯』、(5) 『ハルマ和解』などの成果を生む。幕府も1811年に (6) を設立するが、その設置を建言した (7) が1828年 (8) 事件で処罰された。(9) は大坂に適塾を開き、福沢諭吉らを輩出した。

1 西洋紀聞、2 漢訳洋書、3 蘭学事始、4 大槻玄沢、5 稲村三伯、6 蛮書和解御用、7 高橋景保、8 シーボルト、9 緒方洪庵

国学☆Mini 日本史 2009.09.18

国学は、荷田春満の門人(1)の教えに接して『古事記伝』などを著した伊勢松坂の(2)によって大成された。(2)の影響を受けた(3)は復古神道<平田国学>をひらき、儒教や仏教をはげしく批判した。盲目の学者(4)は幕府の援助により(5)を設立した。国学は、大塩の乱と同時期に越後柏崎で蜂起した(6)や、幕末の尊王論にも影響を与えた。

1 賀茂真淵、2 本居宣長、3 平田篤胤、4 塙保己一、5 和学講談所、6 生田万

経世学の発展☆Mini 日本史 2009.09.19

幕藩体制の基本施策である身分制・鎖国を批判した学者として、『自然真営道』『(1)』を著して万人直耕を主張した(2)、『稽古談』を著して商工業による藩財政の再建を説いた(3)、『西域物語』『経世秘策』を著して西洋との貿易による富国策をといた(4)、『経済要録』『農政本論』を著して産業国営化・貿易振興をといた(5)らがあげられる。

1 統道真伝、2 安藤昌益、3 海保青陵、4 本多利明、5 佐藤信淵

町人の学問☆Mini 日本史 2009.09.20

大坂商人出資の漢学塾の(1)は幕府に公認され、官学に準じる扱いを受けた。(1)で学んだ商家の番頭(2)は『夢の代』を著し、近代合理主義に通じる無神(無心)論を主張した。京都では(3)が商人や人間の倫理を追究する心学を始めた。心学は、手島堵庵や、江戸に参前舎を設立して人足寄場の教諭方にもなった(4)らによって全国に広められた。

1 懐徳堂、2 山片蟠桃、3 石田梅岩、4 中沢道二

化政美術☆Mini 日本史 2009.09.21

(1) が創始した錦絵<浮世絵版画>は、美人画の (2)、特異な役者絵・相撲絵の (3)、風景画の (4)・歌川広重が名高い。文人画は池大雅・(5)『十便十宜図』や (6)『鷹見泉石像』、写生画は (7)『雪松図』、洋風画は (8)『不忍池図』や亜欧堂田善『浅間山図』などが知られる。

1 鈴木春信、2 喜多川歌麿、3 東洲斎写楽、4 葛飾北斎、5 与謝蕪村、6 渡辺崋山、7 円山応挙、8 司馬江漢

仏教と民衆☆Mini 日本史 2009.09.22

17 世紀半ば、明の禅僧 (1) が黄檗宗を伝え、宇治に (2) 寺を開いた。その後仏教各宗派は、本山・(3) 制の序列化や、弾圧対象となった日蓮宗 (4) 派をのぞき、(5) 制度により個々の民衆を宗旨人別帳で把握するなど幕府・諸藩の民衆支配を担った。明治維新期、神仏分離・神道国教化の中で (6) の嵐が吹き荒れた。また、(7) は各地で個性的な仏教彫刻を残した。

1 隠元隆琦、2 万福、3 末寺、4、不受不施、5 寺請、6 廃仏毀釈、7 円空

列強のアジア進出☆Mini 日本史 2009.09.23

18 世紀には、市民革命・産業革命を実現したイギリスや、ユーラシア大陸北部に領土を広げた (1) のアジア進出が目立つようになった。(1) は日本に通商を求め、使節ラクスマンを根室に来航させた。1808 年、ナポレオン戦争の余波をうけて、イギリスの (2) 号が敵国オランダのアジアにおける拠点の長崎に侵入した。18 世紀後半には (3) がイギリスから独立。アジアとの貿易に乗り出すことになる。

1 ロシア、2 フェートン、3 アメリカ

19世紀前半の外交☆Mini 日本史 2009.09.24

たび重なるイギリス船の出現・上陸に対処するため、幕府は1825年に(1)を発令した。1837年、アメリカ船(2)号が日本人漂流民を伴って来航したが、幕府は2ヶ所く相模、薩摩で砲撃させた。この対応を批判した洋学者の渡辺崋山・(3)は処罰された(蛮社の獄)。1840年に始まるアヘン戦争はイギリスの勝利に終わり、幕府も1842年に(4)を発して(1)を緩和<事実上の廃棄>した。

1 異国船打払い令、2 モリソン、3 高野長英、4 天保の薪水給与令

開国前夜☆Mini 日本史 2009.09.25

1844年、(1)国王が日本に開国勧告の国書を送ったが、日本(幕府)は(1)が国交関係をもたない貿易だけ行う「通商国」であるため、この勧告を退けた。1846年、アメリカの使節(2)が来航し、開国を要求したがこの要求も退けた。1848年、メキシコからカリフォルニアを割譲されたアメリカは、以後、太平洋の対岸にある清国などアジア世界を重視し、日本をその重要な寄港地と認識するようになった。

1 オランダ、2 ビッドル

日米和親条約☆Mini 日本史 2009.09.26

2度にわたるアメリカ使節(1)の来航により1854年に日米和親条約が結ばれ、(2)・箱館の開港、アメリカに一方的な(3)の付与、領事駐在などが定められた。ロシアとの条約では(4)開港が加えられ、(5)<日本領>・得撫<ロシア領>の間に国境が画定され、(6)は両国人の雑居地とされた。1856年、(2)駐在の初代総領事としてアメリカから(7)が来日した。

1 ペリー、2 下田、3 最恵国待遇、4 長崎、5 択捉、6 樺太、7 ハリス

開港☆Mini 日本史 2009.09.27

1858年(1)条約で新たに神奈川・長崎・(2)・兵庫の開港が明記された。(1)条約は、(3)裁判権を承認し、日本側が(4)自主権をもたない不平等条約であり、(4)は1866年の(5)で諸外国に有利になるよう改められた。1860年、(1)条約批准書交換のため、全権の外国奉行(6)らが渡米した。

1 日米修好通商、2 新潟、3 領事、4 関税、5 改税約書、6 新見正興

貿易の開始☆Mini 日本史 2009.09.28

1859年開始の貿易では、神奈川にかわる(1)が長崎・箱館よりも輸出入額が圧倒的に多かった。輸出品は、マニュファクチュアによる(2)、茶、蚕卵紙などであり、(3)が対日貿易の先頭にたっていたため、輸入品は(4)・綿織物が多かった。金銀比価の相違は大量の金貨流出、(5)小判鑄造、物価騰貴をまねき、攘夷運動の原因にもなった。

1 横浜、2 生糸、3 イギリス、4 毛織物、5 万延

外交と政争☆Mini 日本史 2009.09.29

条約調印や将軍継嗣をめぐる一橋・(1)両派の対立は、大老(2)による反対派の大名・公家・志士の弾圧(安政の大獄)へと展開した。大名層では、徳川斉昭・一橋(3)・松平慶永らが謹慎、志士では、越前藩士(4)、松下村塾主宰の長州藩士(5)らが死罪となった。1860年(6)の変で(2)は水戸脱藩士らに殺害された。

1 南紀、2 井伊直弼、3 慶喜、4 橋本左内、5 吉田松陰、6 桜田門外

公武合体☆Mini 日本史 2009.09.30

幕藩体制を維持しながら内外の危機を解決するため、老中（1）は朝廷との提携〈公武合体〉をすすめ、（2）天皇の妹（3）を14代将軍（4）の夫人に迎えるが、1862年（5）の変で引退した。ついで薩摩藩主の父（6）が勅使を連れて江戸入りし、将軍後見職に（7）、政事総裁職に（8）を就任させた。

1 安藤信正、2 孝明、3 和宮、4 徳川家茂、5 坂下門外、6 島津久光、7 徳川慶喜、8 松平慶永

長州藩の再生☆Mini 日本史 2009.10.01

1863年、尊王攘夷派の長州藩の勢力を京から追放するため、公武合体派の薩摩・会津・徳川（一橋）慶喜らは（1）の政変を断行した。翌64年に新選組が（2）で多数の尊攘派を殺害した直後、長州藩は京に進軍し敗北した（=3）。同時期に4か国連合艦隊に（4）を攻撃された長州では、混乱の末、奇兵隊を率いた（5）らが開国・討幕派を形成する。

1 八月十八日、2 池田屋、3 蛤御門（禁門）の変、4 下関、5 高杉晋作

討幕への道☆Mini 日本史 2009.10.02

1865年、幕府は第2次（1）を諸藩に命じたが、各地で起きていた一揆はその準備を遅れさせた。翌66年、土佐の（2）・中岡慎太郎らの仲介で薩摩藩と（3）を結んだ長州藩は、洋学者の（4）〈師は適塾の主宰者（5）。明治初年に国民皆兵を提唱〉を指揮官とし、四方面で征討軍を破った。幕府は将軍家茂の死去を理由に（1）を中止した。

1 長州征討、2 坂本竜馬、3 薩長連合（同盟）、4 大村益次郎、5 緒方洪庵

## 幕府の崩壊 1 ☆Mini 日本史 2009.10.03

1866 年末、15 代将軍を継承した (1) とも親しかった (2) 天皇の死去以後、若年の (3) 天皇の下で討幕派公家 (4) が薩摩・長州と結び、「討幕の密勅」を発した。(1) はフランス公使 (5) の支援を得て挽回をはかるが、前土佐藩主 (6) のすすめにより、1867 年 10 月 14 日、(7) を朝廷に願い出た。このため機先を制された討幕派は「討幕」の口実を失った。

1 徳川慶喜、2 孝明、3 明治、4 岩倉具視、5 ロッシュ、6 山内豊信、7 大政奉還

## 幕府の崩壊 2 ☆Mini 日本史 2009.10.04

討幕派は 1867 年 12 月 9 日に (1) の大号令を発し、同日の (2) で慶喜の (3) 辞職・幕領返還を決定し、慶喜の新政権への参画を否定した。68 年 1 月鳥羽・伏見の戦いで薩長 (新政府) 軍は旧幕府軍を破り、4 月江戸を占領した。東北諸藩は (4) 同盟を結んで新政府に抵抗したが会津藩降伏とともに解体した。翌 69 年、箱館 (5) に拠った旧幕臣 (6) が降伏し、内乱は終わった。

1 王政復古、2 小御所会議、3 内大臣、4 奥羽越列藩、5 五稜郭、6 榎本武揚

## 偽官軍 {にせかんぐん} ☆Mini 日本史 2009.10.04

戊辰戦争の初期、草莽隊<下級武士・民衆らが自発的に組織した軍隊>の一つで、隊長の (1) が率いた (2) 隊が、「年貢半減」を勝手に触れ回ったとして、「偽官軍 {にせかんぐん}」の汚名を着せられた上、新政府の命で信濃の下諏訪 (8 名) や伊勢の四日市 (7 名) などで処刑されている。後年、(1) の孫・木村亀太郎は祖父の名誉回復に前半生を費やした。

1 相楽総三、2 赤報隊

新政府の発足☆Mini 日本史 2009.10.05

1868年3月、新政府は(1)〈長州出身の(2)が最後に修正〉を發し、公議世論の尊重・開国和親を基本方針とし、閏4月の(3)では三権分立や(4)への権力集中を示した。同時に新政府は(5)教や強訴の禁止等を(6)とよばれる高札で示した。また、天皇親政を強調するため、天皇1人に元号を1つとする(7)の制を定め、69年には(8)に遷都した。

1 五箇条の誓文、2 木戸孝允、3 政体書、4 太政官、5 キリスト、6 五榜の掲示、7 一世一元、8 東京

中央集権体制☆Mini 日本史 2009.10.06

1869年、新政府は、将軍に代わって天皇から領地支配(領知)の認可を得ることを口実に、藩主に版籍(土地と人民)を天皇に一時返還させた。これを(1)という。藩主は旧領地の(2)に任命されたが、71年の(3)で罷免され、東京への移住を命じられた。かわって中央の官僚が府知事・(4)として赴任した。知事の公選制は第二次世界大戦後のことである。

1 版籍奉還、2 知藩事、3 廃藩置県、4 県令

都道府県の変遷☆Mini 日本史 2009.10.07

廃藩置県時(1871年)は1使=北海道の(1)・3府〈東京・京都・大阪〉・302県であったが、同年末に1使3府72年へ整理された。翌72年には(2)藩が置かれたが79年に同藩は(3)県となり、1888年には1道3府43県になった。1943年の「樺太庁の内地編入」と「東京府→東京都」により、1945年の敗戦時は、すでに同年6月にアメリカ軍に占領された(3)県を含み「1都1道2府43県1庁」だった。〈廃止された樺太庁を除けば今と同じ都道府県数〉

1 開拓使、2 琉球、3 沖縄

## 徴兵制と警察制度 ☆Mini 日本史 2009.10.08

わが国の徴兵制は、長州出身の(1)が唱えた「国民皆兵」をめざし、その後継者で同じ長州出身の(2)により、72年(3)、73年(4)が發布された。徴兵対象となる成年男子のうち戸主・嗣子・養子や代人料(5)円納入者には免役が認められたが、各地で徴兵制への反対運動＝「(6)一揆」が相ついだ。警察行政では、1874年、(7)省所属の東京(8)が設置された。

1 大村益次郎、2 山県有朋、3 徴兵告諭、4 徴兵令、5-270、6 血税、7 内務、8 警視庁

## 明治初期の外交 1 ☆Mini 日本史 2009.10.09

1871年、日本は清国との間に(1)を結んだ。清国を宗主国とする朝鮮が諸外国の開国要求を拒否し続けるなか、日本では岩倉使節団派遣時の留守政府の中心人物である(2)らが征韓論<または戦争も想定内にした「遣韓論」>を唱えたが、1873年に帰国した大久保利通らによってこの主張は退けられ、(2)、(3)<翌74年佐賀の乱で刑死>、(4)<自由民権運動を主導>らは官職を辞任(下野)した。

1 日清修好条規、2 西郷隆盛、3 江藤新平、4 板垣退助

## 明治初期の外交 2 ☆Mini 日本史 2009.10.10

1874年、懸案の琉球漁民殺害事件(71年、台湾で発生)を解決するため、日本政府は(1)<陸軍中将。のち海軍大将>に指揮させ、台湾出兵＝「(2)」を断行した。この事件は(3)<初代内務卿>が清に赴いて「義挙」と認めさせ、賠償金も得て解決した。翌75年、日本軍艦と朝鮮の武力衝突事件＝(4)を機に翌76年(5)が締結され、朝鮮は領事裁判権と関税免除を強いられた。

1 西郷従道、2 征台の役、3 大久保利通、4 江華島事件、5 日朝修好条規

士族反乱☆Mini 日本史 2009.10.11

1874年(1)の乱を起こした江藤新平<征韓派参議>は処刑され、1876年(2)処分・(3)令を機に熊本の敬神党が蜂起し、1877年(4)戦争では西郷隆盛が政府軍と戦った。同時期、茨城や三重で(5)改正反対の農民一揆が起こり、政府は(5)を2.5%に下げ対処した。78年、政府首脳の大久保利通が東京の(6)で不平士族に殺害され、その直後、近衛兵が皇居近くで反乱を起こす(7)事件が起きた。

1 佐賀、2 秩禄、3 廃刀、4 西南、5 地租、6 紀尾井坂、7 竹橋

立憲国家への道☆Mini 日本史 2009.10.12

1874年(1)設立の建白書の後、板垣退助と(2)は郷里土佐で政社(3)を設立し、翌75年に全国組織(4)が結成された。同年の大阪会議の後、政府は(5)の詔を出し、立法機関の(6)、司法機関の(7)を設置するとともに、讒謗律・(8)条例を制定して言論を弾圧した。80年、(4)が(9)へ発展すると、政府は(10)を制定した。

1 民撰議院、2 片岡健吉、3 立志社、4 愛国社、5 立憲政体樹立、6 元老院、7 大審院、8 新聞紙、9 国会期成同盟、10 集会条例

政党の結成☆Mini 日本史 2009.10.13

1881年(1)事件で民権派に同調したとされた参議(2)を(3)の政変で罷免した政府は、(4)の勅諭で憲法制定を明言した。同年、国会期成同盟は分裂し、板垣退助を党首とする士族・豪農中心の(5)党、翌82年、(2)を党首とする実業家・知識人中心の(6)党が結成された。同時期、政府の中心人物(7)は、憲法調査のため渡欧した。

1 開拓使官有物払下げ、2 大隈重信、3 明治十四年、4 国会開設、5 自由、6 立憲改進黨、7 伊藤博文

憲法草案☆Mini 日本史 2009.10.14

民権団体などが起草した憲法草案、いわゆる(1)のなかで、植木枝盛が起草した「(2)」は革命権・抵抗権を明記したことで知られ、「(3)」は千葉卓三郎が多摩地方での学習会をふまえて起草したものである。(1)の呼び名は、慶応義塾出身者の社交団体である(4)が発表した「(1)案」に由来している。

1 私擬憲法、2 東洋大日本国国憲案、3 五日市憲法、4 交詢社

民権運動の激化☆Mini 日本史 2009.10.15

(1) 銀行設立などを進めた大蔵卿(2)によるデフレ・増税策は農村を疲弊させ、82年(3)事件<旧会津藩領>、84年(4)事件<困民党が蜂起>などの民権激化運動が起きた。85年、旧自由党の(5)・景山英子らが朝鮮の保守派政府打倒を企てて失敗する(6)事件が起きた。再起した民権派は86年大同団結運動、87年(7)運動を展開したが、(8)条例により弾圧された。

1 日本、2 松方正義、3 福島、4 秩父、5 大井憲太郎、6 大阪、7 三大事件建白、8 保安

憲法の発布☆Mini 日本史 2009.10.16

1884年(1)令により将来の上院<貴族院>の基礎を築いた伊藤博文は、翌85年に太政官制を廃して(2)制度を発足させ、自ら初代総理大臣に就任した。89年(明治22)2月11日、大日本帝国憲法が(3)での審議をへて発布された。発布時の首相は(4)である。地方制度もドイツ人顧問モッセの助言を得て(5)らが進め、88年(6)制・町村制、90年(7)制・郡制が公布された。

1 華族、2 内閣、3 枢密院、4 黒田清隆、5 山県有朋、6 市、7 府県

憲法の内容☆Mini 日本史 2009.10.17

大日本帝国憲法は天皇を（1）権の総攬者とし、文武官任免、宣戦・講和など広範な天皇大権を与え、また、軍隊を指揮する（2）権を与えた。議会は衆議院・（3）院の2院制で両院は対等であった。臣民とされた国民は、「（4）の範囲内」で信教・言論などの自由が保障された。同時に制定された衆議院議員選挙法では、満25歳以上の男子で直接国税（5）円以上の納入者に選挙権が与えられた。

1 統治、2 統帥、3 貴族、4 - 法律、5-15

初期議会☆Mini 日本史 2009.10.18

1890年開催の帝国議会では、立憲自由党・（1）党の民党が過半数を占め、主権線・利益線の防衛に必要な軍事費増額をめざす首相の（2）らの藩閥内閣に対し、「経費節減・（3）」を唱えて攻撃した。第2回総選挙で（4）内閣は激しい（5）を行ったが民党が圧勝した。次いで成立した第2次（6）内閣は、1893年に天皇の詔書を利用して軍事費増額に成功した。

1 立憲改進黨、2 山県有朋、3 民力休養、4 松方正義、5 選挙干渉、6 伊藤博文

民法と刑法☆Mini 日本史 2009.10.19

1890年、フランス人（1）を中心に編纂された民法が公布された。しかし、従来の家族道徳を破壊するとして、帝国大学教授（2）は論文「民法出デゝ忠孝亡ブ」で批判した。このため試行は延期され、大幅に修正された民法が公布された（1896年・98年）。この民法は戸主・長男の権限の強いものであった。刑法では、男尊女卑にもとづく封建的な（3）罪がおかれた。

1 ボアソナード、2 穂積八束、3 姦通

## 日清戦争☆Mini 日本史 2009.10.20

日清両国は、朝鮮支配をめぐる争い、1882年(1)軍乱、84年(2)事変を経て85年(3)条約を結ぶが、94年(4)戦争を機に開戦する。95年(5)条約で、朝鮮の独立、償金二億テール、日本への(6)半島・台湾割譲が決められたが、(6)半島はロシア・ドイツ・フランスの三国干渉で領有を放棄した。同95年、日本は、ロシアへの接近を深めたとして朝鮮王妃(7)を殺害した。

1 壬午、2 甲申、3 天津、4 甲午農民、5 下関、6 遼東、7 閔妃(明成皇后)

## 19世紀末の政治☆Mini 日本史 2009.10.21

1898年、第3次(1)内閣が地租増徴に失敗して総辞職し、(2)党を与党とする初の政党内閣、第1次(3)内閣が成立したが、文部大臣(4)の共和演説事件が原因で崩壊した。ついで成立した第2次(5)内閣は、1899年文官任用令改正、1900年(6)法、(7)制を定めた。また、(1)は旧自由党系を吸収して(8)を結成し、初代党首となった。

1 伊藤博文、2 憲政、3 大隈重信、4 尾崎行雄、5 山県有朋、6 治安警察、7 軍部大臣現役武官、8 立憲政友会

## 20世紀の開幕☆Mini 日本史 2009.10.22

1900年(1)の乱につづく北清事変に列強とともに出兵した日本は、事変後、ロシアとの対立を深めた。伊藤博文らが提唱する(2)論を退けた第1次(3)内閣は、1902年(4)協約を結んだ。国内では(5)ら東大七博士、対露同志会の近衛篤磨らが開戦論を唱え、開戦論に転じた『万朝報』を退社した(6)・堺利彦らは(7)を結成して反戦論を主張した。

1 義和団、2 日露協商、3 桂太郎、4 日英同盟、5 戸水寛人、6 幸徳秋水、7 平民社

## 日露戦後☆Mini 日本史 2009.10.23

1904 年日露戦争で勝利をおさめた日本は、米大統領ローズヴェルトの仲介による 05 年 (1) 条約で、韓国への指導・監督権、旅順・(2) の租借権、北緯 50 度以南の (3) 領有などを承認されたが、これを不十分とする国民は (4) 事件とよばれる暴動をおこした。満州経営に着手した日本は、1906 年、旅順に (5) を置き、半官半民の (6) 株式会社を設立した。

1 ポーツマス、2 大連、3 南樺太、4 日比谷焼打ち、5 関東都督府、6 南満州鉄道

## 韓国廃滅☆Mini 日本史 2009.10.24

日本は、1905 年の第 2 次 (1) により大韓帝国 (韓国) の外交権を奪い、首都に (2) 府をおいた。初代 (2) は (3) である。07 年、(4) 密使事件後に結んだ第 3 次 (1) により内政権も掌握した。植民地化に抵抗する韓国民衆の (5) 運動が高まる中で (3) が 09 年に暗殺されると、翌 10 年に (6) 条約を結び、旧首都に (7) 府をおいた。初代 (7) は (8) である。

1 日韓協約、2 統監、3 伊藤博文、4 ハーグ、5 義兵、6 韓国併合、7 朝鮮総督、8 寺内正毅

## 産業革命 1☆Mini 日本史 2009.10.25

1883 年開業の (1) 紡績会社などの民間会社は、手紡や (2) 考案のガラ紡を圧迫し、(3) 年に綿糸輸出量は輸入量を上まわった。製糸では、94 年に器械製糸が (4) 製糸を上まわり、1909 年に輸出量は世界最大となった。これらは、横山源之助『(5)』、農商務省『(6)』にみられるように、過酷な労働を強いられた貧しい農家出身の工女らの犠牲の上に成り立っていた。

1 大阪、2 臥雲辰致、3 -1897、4 座繰、5 日本之下層社会、6 職事情

## 産業革命 2 ☆Mini 日本史 2009.10.26

金融では、日清戦争の賠償金を基金として、1897年貨幣法により(1)制が確立された。重工業は1901年開業の官営(2)製鉄所や日本製鋼所など民間会社により鉄鋼生産が本格化した。鉄道では、1889年に民営の営業キロ数が官営を上まわったが、1906年公布(3)により主要民間会社が国有となった。こうしたなか、政商などから成長した財閥は多角経営を展開し、(4)を形成した。

1 金本位、2 八幡、3 鉄道国有法、4 コンツェルン

## 幕末の文化 ☆Mini 日本史 2009.10.27

開国以後の幕府は、江戸湾に(1)砲台を築造し、長崎に(2)、江戸に外交文書翻訳のための(3)のち洋書調所・開成所、明治期に開成学校・東京大学や、軍事訓練・研究の講武所、医学研究の(4)のち西洋医学所・医学所を設置した。西周、津田真道、榎本武揚、福沢諭吉、渋沢栄一らは、幕府の事業によって欧米留学・視察を体験している。

1 台場、2 海軍伝習所、3 蕃書調所、4 種痘所

## 文明開化 ☆Mini 日本史 2009.10.28

明治初期の啓蒙書には、福沢諭吉『(1)』『学問のすゝめ』『文明論之概略』、中村正直『(2)』、少し遅れて中江兆民『(3)』などがある。1873年、洋行経験者(4)・西周・福沢・加藤弘之らは(5)を設立した。政府は72年にフランス式の統一的な(6)を定めたが実情にあわず、79年(7)令で改正した。高等教育では、77年(8)大学が設立された。

1 西洋事情、2 西国立志編、3 民約訳解、4 森有礼、5 明六社、6 学制、7 教育、8 東京

神道の国教化☆Mini 日本史 2009.10.29

明治政府は、神仏習合を改めて神道国教化をめざし、1868年(1)令、70年(2)の詔を発した。全国でおこった(3)は、仏教界に覚醒をうながす契機にもなった。政府はキリスト教を禁止していたが、(4)弾圧事件を諸外国から抗議されたため(5)年に黙認した。皇室行事を中心に祝祭日も定められ、天皇誕生日の(6)節や建国神話にもとづく(7)節が定められた。

1 神仏分離、2 大教宣布、3 廃仏毀釈、4 浦上信徒、5 - 1873、6 天長、7 紀元

平民主義☆Mini 日本史 2009.10.30

1887年、(1)らが結成した民友社は、雑誌『(2)』を発行して平民的欧化主義(平民主義)を唱えた。1889年には(3)が新聞『日本』を創刊し、国民主義を唱えた。また、(4)・志賀重昂・杉浦重剛らは国粋保存主義団体の(5)を結成し、雑誌『日本人』を発行した。(1)は1895年の(6)以降、対外膨張を主張し、さらに皇室中心主義へ転じていった。

1 徳富蘇峰、2 国民之友、3 陸羯南(くがかつなん)、4 三宅雪嶺、5 政教社、6 三国干渉

大正政変☆Mini 日本史 2009.10.31

明治末期は、陸軍閥の(1)と立憲政友会総裁(2)が交互に政権を担当した(桂園時代)。1912年(大正元)、第2次(2)内閣は(3)問題による陸軍大臣(4)の単独辞任と(5)武官制で倒れ、第3次(1)内閣が成立した。政友会の(6)や立憲国民党の(7)らは「閥族打破・(8)」を唱え、翌13年、わずか60日余で(1)内閣を倒した。

1 桂太郎、2 西園寺公望、3 二個師団増設、4 上原勇作、5 軍部大臣現役、6 尾崎行雄、7 犬養毅、8 憲政擁護

第一次世界大戦☆Mini 日本史 2009.11.01

大正政変後、海軍の(1)内閣は軍部大臣現役武官制を改正するが(2)事件で総辞職した。つづく第2次(3)内閣は、1914年(4)勃発後、(5)同盟を理由に中国の(6)半島のドイツ基地を攻撃させ、翌15年、中国の(7)政府に(8)を承認させた。当時、日本の行動を(9)新聞社の(10)が激しく批判した。

1 山本権兵衛、2 シーメンス、3 大隈重信、4 第一次世界大戦、5 日英、6 山東、7 袁世凱、8 二十一カ条の要求、9 東洋経済、10 石橋湛山

平民宰相☆Mini 日本史 2009.11.02

1918年、(1)出兵にからむ米の買占めに反発した(2)県の女性の蜂起は全国的な(3)に発展し、陸軍の(4)内閣を退陣させた。元老(5)は事態の收拾をはかり立憲政友会総裁(6)に組閣させた。「平民宰相」と期待され、大学令公布・パリ講和会議への全権派遣などの政策を進めるが、(7)法を否決し、朝鮮の1919年(8)独立運動を弾圧している。

1 シベリア、2 富山、3 米騒動、4 寺内正毅、5 山県有朋、6 原敬、7 普通選挙、8 三・一

国際協調主義☆Mini 日本史 2009.11.03

1919年、パリ講和会議で(1)条約が締結され、翌20年には日本も常任理事国とする(2)が発足した。21~22年開催の(3)会議では、太平洋諸島の現状維持に関する(4)条約、中国の主権尊重・門戸開放などに関する(5)条約、主力艦の保有量制限を定めた(6)条約<五か国条約>などが締結された。また、22年、日中間では(7)省ドイツ権益返還条約が結ばれた。

1 ヴェルサイユ、2 国際連盟、3 ワシントン、4 四か国、5 九か国、6 海軍軍縮、7 山東

大正デモクラシ☆Mini 日本史 2009.11.04

近代の天皇は大日本帝国憲法で「万世一系」「(1) 権の総攬者」と規定され、天皇大権や軍隊を統率する (2) 権などを行使した。大正期、『(3)』等の著者の憲法学者 (4) は天皇機関説を、政治学者 (5) は『中央公論』などで democracy を「民主主義」と訳さずに「(6) 主義」として、それぞれ主権在君下における民主的な運用や政党政治の実現が可能であると述べた。

1 統治、2 統帥、3 憲法講話、4 美濃部達吉、5 吉野作造、6 民本

第二次護憲運動☆Mini 日本史 2009.11.05

1923年9月の(1)大震災直後に成立した第2次(2)内閣は同年末の(3)事件の責任をとって退陣し、(4)内閣が成立した。ついで行われた衆議院総選挙では、立憲政友会、憲政会、革新倶楽部が提携し、圧勝、三派連立の(5)内閣が成立した。同内閣のもと、1925年、全ての男子25歳以上に選挙権を与える(6)法、共産主義を主に取り締まる(7)法が成立した。

1 関東、2 山本権兵衛、3 虎の門、4 清浦奎吾、5 加藤高明、6 普通選挙、7 治安維持

憲政の常道☆Mini 日本史 2009.11.06

1924年成立の(1)〈護憲三派〉内閣以後の8年間、わが国では多数政党を与党とする政党内閣の時代が続いた。護憲三派分裂後、首相の(1)を党首とする(2)単独の内閣となり、(1)の病死後は後継党首の(3)が第1次内閣を組閣したが金融恐慌で退陣、立憲政友会党首・陸軍大将の(4)が組閣した。27年、(2)が政友本党を吸収して(5)を党首とする(6)が結成され。

1 加藤高明、2 憲政会、3 若槻礼次郎、4 田中義一、5 浜口雄幸、6 立憲民政党

### 大戦景気☆Mini 日本史 2009.11.07

第一次大戦中の日本では、アジア市場への(1)織物、アメリカへの(2)を中心に輸出が増加した。世界的な船舶不足は造船業等に好況をもたらし、(3)とよばれる実業家を生み出した。また、電気機械の国産化、化学・重化学工業の発達、工業原動力の蒸気力から(4)への転換などがみられ、工業生産額が農業生産額を上まわった。しかし、大戦後、(5)とよばれる経済不況に陥った。

1 綿、2 生糸、3 船成金、4 電力、5 戦後恐慌

### 恐慌の時代☆Mini 日本史 2009.11.08

1920年代のわが国では、恐慌が相ついだ。大戦後の(1)恐慌<反動恐慌>や1923年以後の(2)恐慌により、多くの企業や金融機関が打撃を受けた。また、(2)手形処理は不良経営の銀行を延命させ、1927年の(3)恐慌における取り付け騒ぎなど銀行への不安を表面化させる原因にもなった。1930年には、前年の世界恐慌の影響をうけて、(4)恐慌がおきた。こうした恐慌の中、国家改造をめざす団体が生まれた。

1 戦後、2 震災、3 金融、4 昭和

### 昭和恐慌☆Mini 日本史 2009.11.09

1927年<昭和2>、(1)大蔵大臣の失言で金融恐慌をまねいた第1次(2)内閣<憲政会>は、(3)法を公布して小銀行の整理をはかった。また(4)に巨額の不良債権をもつ(5)銀行救済の緊急勅令を発しようとしたが(6)<天皇の諮問機関>に反対されて退陣した。次の(7)内閣<立憲政友会>の(8)大蔵大臣は(9)を発して金融恐慌を鎮めた。

1 片岡直温、2 若槻礼次郎、3 銀行、4 鈴木商店、5 台湾、6 枢密院、7 田中義一、8 高橋是清、9 支払猶予令<モラトリアム>

大陸への侵攻☆Mini 日本史 2009. 11. 10

1926年、中国国民党の(1)〈孫文の後継者〉が国内統一戦争の(2)を開始すると、立憲政友会の(3)内閣は、3次におよぶ(4)出兵を断行した。同内閣は(5)不戦条約を結ぶなど国際協調路線もとったが、関東軍による中国軍閥の(6)爆殺事件の処理をめぐり、昭和天皇の不信をまねき、29年総辞職した。ついで立憲民政党を与党とする(7)内閣が成立した。

1 蒋介石、2 北伐、3 田中義一、4 山東、5 パリ、6 張作霖、7 浜口雄幸 {おさち}

普通選挙の実施☆Mini 日本史 2009. 11. 11

1928年、立憲政友会の(1)内閣のもとで初の普通選挙が実施され、無産政党諸派が8名当選した。この直後、同内閣は共産党員らの大検挙を行いく(2)事件>、6月には議会で審議未了となった(3)を緊急勅令によって改定<最高刑に死刑・無期刑を追加>した。翌29年4月にも共産党員らの大検挙を行った(4)事件>。(3)は、1941年に7条から65条に増加・全面改定され、予防拘禁制度等が導入された。

1 田中義一、2 三・一五、3 治安維持法、4 四・一六

軍部と政党☆Mini 日本史 2009. 11. 12

1930年、(1)内閣の(2)大蔵大臣は(3)〈金解禁〉(金本位制の復帰)を断行したが、世界恐慌の影響を受けて(4)恐慌をまねいた。同内閣は(5)外務大臣の国際協調外交を維持させ、中国の(6)を承認し、30年の(7)条約に調印<全権は(8)>したが、野党・軍部等から(9)干犯と批判され、首相は東京駅で狙撃された。

1 浜口雄幸、2 井上準之助、3 金輸出解禁、4 昭和、5 幣原喜重郎、6 関税自主権、7 ロンドン海軍軍縮、8 若槻礼次郎、9 統帥権

大正・昭和初期の文化 1 ☆Mini 日本史 2009.11.13

第一次世界大戦前後の工業化はサラリーマンや電話交換手・タイピストなどの分野で進出して(1)とよばれる女性などの給与生活者を増加させ、大衆文化の基盤となった。総合雑誌『(2)』〈1899 創刊〉、『(3)』〈1919 年創刊〉の売り上げが急増し、児童文学雑誌『(4)』〈1918 年創刊〉、娯楽雑誌『(5)』〈1925 年、講談社〉も創刊された。また、1冊1円の(6)や岩波文庫は文学全集を普及させた。

1 職業婦人、2 中央公論、3 改造、4 赤い鳥、5 キング、6 円本

大正・昭和初期の文化 2 ☆Mini 日本史 2009.11.14

マスメディアでは、(1)年に東京・大阪・名古屋で始まったラジオ放送、1930年代に始まった(2)とよばれる有声映画が普及した。生活面では和洋折衷の(3)住宅が流行し、一般家庭に照明用の(4)が普及した。学者では、天皇機関説の(5)、民本主義の(6)、『貧乏物語』の(7)、『善の研究』の(8)、民俗学の南方熊楠・(9)らが活躍した。

1-1925、2 トーキー、3 文化、4 電灯、5 美濃部達吉、6 吉野作造、7 河上肇、8 西田幾多郎、9 柳田国男

大正・昭和初期の文化 3 ☆Mini 日本史 2009.11.15

文学では、白樺派→(1)『カインの末裔』。(2)『和解』『暗夜行路』、(3)『その妹』『友情』。耽美派→(4)『腕くらべ』、(5)『痴人の愛』。新思潮派→(6)『羅生門』、(7)『恩讐の彼方に』などが発表された。社会主義等の影響によるプロレタリア文学では、機関誌『(8)』〈1921 年〉、『(9)』〈1928 年〉などが創刊された。

1 有島武郎、2 志賀直哉、3 武者小路実篤、4 永井荷風、5 谷崎潤一郎、6 芥川龍之介、7 菊池寛、8 種蒔く人、9 戦旗

大正・昭和初期の文化 4 ☆Mini 日本史 2009.11.16

大衆文学では、『大菩薩峠』の(1)、『宮本武蔵』の(2)、探偵小説の(3)らが好評を博した。新劇運動では、1924年に(4)・土方与志らが(5)を創設。音楽では、山田耕筰が1925年に(6)を結成。美術では、『麗子微笑』の(7)、『生々流転』の(8)、『紫禁城』の(9)、『金蓉』の(10)らが活躍した。

1 中里介山、2 吉川英治、3 江戸川乱歩、4 小山内薫、5 築地小劇場、6 日本交響楽協会、7 岸田劉生、8 横山大観、9 梅原竜三郎、10 安井曾太郎

無産政党 ☆Mini 日本史 2009.11.17

土地や資産・財産を持つ有産階級に対して、これらを持たない労働者・農民など一般人民を「無産階級」という。有産階級が支持する立憲政友会・立憲民政党などの既成政党に対して結成された無産政党では、1926年に(1)党<党首は杉山元治郎>が結成されたが分裂した。戦前の衆議院で最多議席を獲得した無産政党は、1937年4月総選挙における(2)党の37議席<総議席466>である。

1 労働農民、2 社会大衆

満州事変 ☆Mini 日本史 2009.11.19

1931年(昭和6)9月18日、日本の関東軍は、奉天郊外の(1)で(2)鉄道を爆破し、これを中国軍の行為として軍事行動を開始した。(3)党を基盤とする第2次(4)内閣は不拡大方針を唱えるが閣内不一致のため総辞職し、同年末に(5)総裁の(6)が組閣した。翌32年3月、関東軍は清朝最後の皇帝宣統帝(7)を執政とする(8)建国を宣言させた。

1 柳条湖、2 南満州、3 立憲民政、4 若槻礼次郎、5 立憲政友会 6 犬養毅、7 溥儀、8 満州国

暗殺とクーデタ計画☆Mini 日本史 2009.11.20

満州事変前後から、「国家(1)」をめざす軍人・右翼の動きが活発化した。1931年(昭和6)の三月事件・(2)月事件では軍部政権樹立が計画された。翌32年、井上日召配下の(3)所属員が前大蔵大臣(4)や三井財閥幹部(5)を射殺し、同年5月には(6)軍青年将校が総理大臣(7)を官邸で射殺した五・一五事件が起きた。以後、政党内閣は敗戦まで復活しなかった。

1 改造、2 十、3 血盟団、4 井上準之助、5 団琢磨、6 海、7 犬養毅

国際連盟脱退☆Mini 日本史 2009.11.21

満州事変直後、国際連盟はイギリスの(1)を団長とする調査団を現地などに派遣した。1932年(昭和7)9月、日本は満州国との間に(2)をとりかわして満州国の国家承認を行った。1933年2月、国際連盟臨時総会で(1)調査団の報告書にもとづく日本軍の満鉄付属地内への撤兵を求める勧告書が採択され、全権(3)らは会場から退場。翌3月正式に国際連盟脱退を通告した。

1 リットン、2 日満議定書、3 松岡洋右

学問の弾圧☆Mini 日本史 2009.11.24

1933年、自由主義的刑法学の京大教授(1)が免職され、35年には貴族院議員で元東大教授(2)の(3)説が右翼・軍部から攻撃された。(4)内閣は(5)声明を発して(3)説を否認した。以後、大陸政策を批判した東大の(6)、『古事記』『日本書紀』など神話を史実として疑問視した早大の(7)らが弾圧を受けた。

1 滝川幸辰、2 美濃部達吉、3 天皇機関、4 岡田啓介、5 国体明徴、6 矢内原忠雄、7 津田左右吉

二・二六事件☆Mini 日本史 2009.11.25

(1) の著書『日本国家改造法案大綱』の影響をうけた陸軍(2)派の青年将校らが1936年(昭和11)二・二六事件で(3)内大臣、(4)大蔵大臣らを殺害し、(5)内閣は総辞職した。外交官出身の(6)内閣は、(7)制を復活させ、ソ連を仮想敵とする日独(8)を締結した。37年、代議士浜田国松が軍部相手の「腹切り問答」を展開した。

1 北一輝、2 皇道、3 斎藤実、4 高橋是清、5 岡田啓介、6 広田弘毅、7 軍部大臣現役武官、8 防共協定

日中戦争前夜☆Mini 日本史 2009.11.26

満州事変は日中両国が1933年5月に(1)停戦協定を結んで一応終了した。しかし、その後も日本は河北・山東など5省を勢力下におく(2)分離工作を企て、35年に冀東・冀察に傀儡政権を成立させた。こうしたなか、36年に(3)が上司の蒋介石<国民党指導者>を監禁する(4)事件が起こり、国民党と(5)を指導者とする共産党との提携=第2次(6)と(7)統一戦線が成立した。

1 塘沽、2 華北、3 張学良、4 西安、5 毛沢東、6 国共合作、7 抗日民族

日中戦争☆Mini 日本史 2009.11.27

1937年7月(1)事件に始まる日中戦争は、首都(2)占領<大虐殺事件が起きる>、(3)首相<五摂家筆頭の公爵>の3次にわたる声明ののち、しだいに泥沼と化していった。日本軍は中国各地で三光作戦(焼き・殺し・奪い尽くす)を展開し、敗戦までに2千万人をこえる罹災・死者数を出した。(3)内閣は革新官僚を集めた部局を(4)とし、38年(5)法・電力国家管理法などを立案させた。

1 盧溝橋、2 南京、3 近衛文麿、4 企画院、5 国家総動員

## 第二次世界大戦☆Mini 日本史 2009. 11. 28

1936年、日本はドイツと(1)〈翌年にイタリアも参加〉を結んでソ連に対抗した。1938年から翌39年にかけて日ソ両軍が満州とモンゴル・ソ連との国境の張鼓峰や(2)で軍事衝突がおきた。1939年、ドイツがソ連との間に(3)を結ぶと当時の(4)内閣は「欧州の天地は複雑怪奇」と述べて総辞職した。直後の9月1日、ドイツが(5)に侵攻して第二次世界大戦がはじまった。

1 日独防共協定、2 ノモンハン、3 独ソ不可侵条約、4 平沼騏一郎、5 ポーランド

## 新体制運動☆Mini 日本史 2009. 11. 29

1940年、ドイツがパリを占領すると、日本では第二次世界大戦に参加しようとする新体制運動がおこった。同年7月に成立した第2次(1)内閣は、9月にフランス領(2)〈仏印〉への侵攻を開始し、ドイツ・イタリアと(3)を締結した。国内では大部分の政党が解党して新たに結成した(4)に合流した。こうした動きは中国支援に乗りだしたアメリカとの対立を深めていった。

1 近衛文麿、2 インドシナ、3 日独伊三国同盟、4 大政翼賛会

## 太平洋戦争☆Mini 日本史 2009. 11. 30

第2次(1)内閣は1941年4月にソ連との間に(2)条約を結んだ。同年6月に(3)戦争が勃発すると、外務大臣(4)をはずして総辞職し、第3次内閣が成立した。41年7月に南部フランス領(5)進駐を行い、アメリカの対日(6)禁輸をまねいた。11月に米国务長官(7)が示した要求を不服とした(8)内閣は、12月にアメリカ等に宣戦布告した。

1 近衛文麿、2 日ソ中立、3 独ソ、4 松岡洋右、5 インドシナ、6 石油、7 ハル、8 東条英機

## 東条内閣の総辞職☆Mini 日本史 2009.12.01

1943年(1)会議が開催されるが、アジア各地の抗日運動はしだいに高まっていった。国内では、学生を軍隊に召集する(2)や勤労働員が行われ、未婚女性は(3)に編成されて軍需工場での労働を、中国・朝鮮人は(4)によって鉱山での労働を強いられた。都市部の児童は集団(5)で地方に移住した。44年、(6)島陥落により東条内閣は総辞職した。

1 大東亜、2 学徒出陣、3 女子挺身隊、4 強制連行、5 疎開、6 サイパン

## 本土決戦☆Mini 日本史 2009.12.02

東条英機内閣の総辞職後、1944年7月に朝鮮総督・陸軍大将の(1)を首相、元首相・海軍大将の(2)を副総理格とする連立内閣が成立した。しかし、同内閣は戦局の悪化のなか成果をあげられずに45年4月に退陣し、(3)事件で被弾した経験をもつ元侍従長で海軍大将の(4)が組閣した。同内閣は「本土決戦」を呼号する一方で終戦への道を模索し、結果的に終戦を実現することになる。

1 小磯国昭、2 米内光政、3 二・二六、4 鈴木貫太郎

## 敗戦☆Mini 日本史 2009.12.03

1945年2月から半年の間に、2月－米英ソ3国の(1)協定。3月－(2)大空襲。4月－約3か月に及ぶ(3)戦開始。5月－枢軸国の(4)降伏。7月－(5)宣言。8月6日－(6)に原爆投下。8日－(7)が(8)条約を破棄して対日参戦。9日－(9)に原爆投下、15日－(10)天皇による戦争終了の「玉音放送」と、世界や日本を取りまく情勢は激しく推移した。

1 ヤルタ、2 東京、3 沖縄、4 ドイツ、5 ポツダム、6 広島、7 ソ連、8 日ソ中立条約、9 長崎、10 昭和

占領のはじまり治☆Mini 日本史 2009.12.04

日本の占領政策は、連合軍から構成された (1) 〈ワシントンに設置〉を最高機関とし、GHQ= (2) 総司令部を経て、日本政府に指令・勧告する形式で実施された。また、GHQ の諮問機関として米英中ソの 4 か国からなる (3) が東京に設置された。皇族で陸軍大将の (4) の内閣は GHQ の指令・勧告に対応できずに総辞職し、1945 年 10 月、元外務大臣の (5) が組閣した。

1 極東委員会、2 連合軍最高司令官、3 対日理事会、4 東久邇宮稔彦王、5 幣原喜重郎

戦後改革の出発☆Mini 日本史 2009.12.05

1945 年 10 月、GHQ は (1) 内閣に、婦人解放、(2) 結成、教育の自由主義化、経済民主化などの (3) を発した。同年 12 月の (4) 法で女性に選挙権が与えられた。日本国憲法施行と同じ 47 年、独占禁止法・(5) 法による財閥解体が、(6) 法による第 2 次農地改革が進められ、労働 (7) 法、教育では (8) 法・学校教育法が公布された。

1 幣原喜重郎、2 労働組合、3 五大改革指令、4 新選挙、5 過度経済力集中排除、6 自作農創設特別措置、7 基準、8 教育基本

戦後改革の出発☆Mini 日本史 2009.12.06

敗戦後の米ソ対立等の政治的事情により、(1) 天皇は極東国際軍事裁判での訴追を免れ、1989 年まで在位した。敗戦の翌 46 年正月、天皇はいわゆる「(2) 宣言」を発して神話にもとづく天皇の神格化を否定した。1946 年公布・翌 47 年施行の (3) は、天皇を「日本国」「日本国民統合」の (4) とし、その地位は主権者の (5) の総意に基づくとした。

1 昭和、2 人間、3 日本国憲法、4 象徴、5 日本国民

東西冷戦☆Mini 日本史 2009.12.07

第二次大戦後の米ソ対立の冷戦は、ドイツを東西に、日本の旧植民地の朝鮮を（1）と朝鮮民主主義人民共和国の南北に、それぞれ分断した。中国でも国共内戦の末、1949年以降、大陸に共産党の（2）、台湾に国民党の（3）と、「2つの中国」が分立した。こうしたなか、日本では（4）追放の解除、共産主義者の企業・官庁からの追放=（5）がみられた。

1 大韓民国、2 中華人民共和国、3 中華民国、4 公職、5 レッドパージ

政党政治の復活☆Mini 日本史 2009.12.08

戦後最初の1946年の衆議院議員総選挙で、旧政友会系の（1）党が第1党となるが党首（2）が公職追放にあい、代わって同党党首となった（3）が組閣した。47年の同選挙では（4）党が第1党となり（5）・国民協同党の3党連立による（6）内閣が成立した。ついで連立のまま（7）〈（5）党首〉内閣が成立したが、（8）事件で総辞職し、第2次（3）内閣が成立した。

1 日本自由、2 鳩山一郎、3 吉田茂、4 日本社会、5 民主党、6 片山哲、7 芦田均、8 昭和電工疑獄

経済復興☆Mini 日本史 2009.12.09

戦後の食糧難・インフレーションをおさえるため、46年に（1）を出したが効果はなく、（2）・鉄鋼などの産業に重点をおいた傾斜生産方式を実行するためにとった（3）金庫による巨額の資金投入はインフレを加速させた。49年、特別公使として来日したアメリカ人（4）〈デトロイト銀行頭取〉は経済安定9原則を実施させ、赤字財政を解消し、1ドル=（5）円の固定為替相場を定めた。

1 金融緊急措置令、2 石炭、3 復興金融、4 ドッジ、5-360

講和・独立への道☆Mini 日本史 2009.12.10

1950年6月に勃発した(1)戦争に際して、日本では(2)を創設するなど再軍備の措置がとられた。この戦争は日本の講和・独立を促進させ、翌51年9月、日本は(3)条約を西側諸国との間に結び〈全権主席は首相(4)〉、同時にアメリカ軍の日本駐留を認めた(5)条約を結んだ。翌52年4月に独立を達成した日本は(2)を(6)に、54年に(7)へと再編した。

1 朝鮮、2 警察予備隊、3 サンフランシスコ平和、4 吉田茂、5 日米安全保障、6 保安隊、7 自衛隊

55年体制☆Mini 日本史 2009.12.11

1954年12月、同年2月の(1)疑獄事件などで国民や財界、さらに与党の支持を失った第5次(2)内閣が退陣したあと、(3)の党首(4)が組閣した。翌55年10月に左・右両派の(5)が再統一され、同年11月には保守合同が実現して(6)が結成された。後者の政党の初代党首となった(4)の内閣は翌56年にソ連との(7)に調印し、(8)に加盟した。

1 造船、2 吉田茂、3 日本民主党、4 鳩山一郎、5 日本社会党、6 自由民主党、7 日ソ共同宣言、8 国際連合

安保闘争☆Mini 日本史 2009.12.12

自由民主党初代党首(総裁)の(1)のあと、ジャーナリストとして活躍した(2)が第2代党首として組閣したが短期間で退陣した。ついで組閣した(3)〈東条英機の開戦内閣時の閣僚〉は、60年1月に新日米安保条約＝(4)条約に調印し、国民の激しい反対運動を招いた。この結果、同条約は衆議院で(5)、参議院では未議決のまま(6)の形で成立した。

1 鳩山一郎、2 石橋湛山、3 岸信介、4 日米相互協力及び安全保障、5 強行採決、6 自然承認

経済の季節へ☆Mini 日本史 2009.12.13

岸信介内閣の退陣後、大蔵官僚等の経験ももつ (1) 内閣が「(2)」をスローガンに登場した。また、(3) 計画は国民に好感をもたれ、その後の高度経済成長を象徴する政策となった。1964年、日本はIMF＝(4) 14条国から (5) 条国に移行し、(6) の赤字を理由とする (7) の廃止などが義務づけられた。同年、東京で (8) が開催された。

1 池田勇人、2 寛容と忍耐、3 所得倍増、4 国際通貨基金、5-8、6 経常取引、7 為替制限、8 オリンピック

戦後の長期政権☆Mini 日本史 2009.12.14

1964年11月に組閣した自民党党首 (1) の政権は7年8か月の長期に及んだ。65年に大韓民国との間に (2) を結び、韓国を「朝鮮にある唯一の (3)」とした。67年に (4) を制定して公害規制を明文化し、71年に (5) を創設した。また、(1) 政権末期の71年にアメリカとの間に (6) 協定が結ばれ、翌72年5月に発効、沖縄の日本復帰が実現した。

1 佐藤栄作、2 日韓基本条約、3 合法的な政府、4 公害対策基本法、5 環境庁、6 沖縄返還

高度経済成長☆Mini 日本史 2009.12.15

戦後の好景気は、1950年朝鮮戦争による (1) 景気、55～57年の (2) 景気<神話上の初代天皇に由来>、58～61年の (3) 景気<神話に由来>、62～64年の (4) 景気、65年～70年の (5) 景気<神話の最初の神に由来>などがあげられる。この間、テレビ・電気洗濯機・冷蔵庫の「(6)」、車・クーラー・カラーテレビの (7) が各家庭に普及した。

1 特需、2 神武、3 岩戸、4 オリンピック、5 いざなぎ、6 三種の神器、7-3C

## 列島改造☆Mini 日本史 2009.12.16

1972年成立の(1)内閣<自民党党首>は、同年の(2)調印で日中関係の国交正常化を実現した。同内閣は、日本列島諸地域を太平洋岸の先進地域と結びつける「列島改造」を唱えたが、これは(3)物価とよばれる地価・諸物価の高騰を招く要因にもなった。さらに第1次(4)に直面したことは、高度経済成長の終末を象徴する出来事だった。

1 田中角栄、2 日中共同声明、3 狂乱、4 石油危機（オイルショック）

## 保守政権の動揺☆Mini 日本史 2009.12.17

1974年、田中角栄内閣が政治資金調達をめぐる(1)問題で総辞職し、(2)内閣が成立した。76年、航空機売り込みをめぐる収賄容疑で田中前首相が逮捕される(3)事件がおこると、(2)内閣は与党内の反発をまねき、衆議院議員総選挙で大敗して総辞職し、(4)内閣にかわった。(4)内閣は78年に(5)条約に締結した。同年、総裁選挙の結果、(6)が組閣した。

1 金脈、2 三木武夫、3 ロッキード、4 福田赳夫、5 日中平和友好、6 大平正芳

## 戦後政治の総決算☆Mini 日本史 2009.12.18

1980年、大平正芳首相の急死により、(1)が組閣したが、82年に中国・韓国との間で生じた(2)問題の直後に退陣し、「戦後政治の総決算」をかかげた(3)内閣が成立した。同内閣が行財政改革を進めた結果、電電公社は(4)、専売公社は(5)、国鉄は(6)へと民営化が実現された。つづく(7)内閣のとき、大型間接税が(8)税として実現し、89年4月から実施された。

1 鈴木善幸、2 教科書、3 中曽根康弘、4-NTT、5-JT、6-JR、7 竹下登、8 消費

## 政局の流動化☆Mini 日本史 2009.12.19

1989年、竹下内閣が(1)疑惑により総辞職したあと、(2)内閣が成立した。同年夏の参議院選挙で自民党が大敗・社会党が圧勝すると、(3)内閣にかわった。91年に成立した(4)内閣は翌92年に(5)法を成立させて自衛隊の海外派兵を実現したが、(6)事件、ゼネコン汚職事件が相つぎ、93年の衆議院総選挙で自民党は大敗、8党派からなる(7)内閣が成立した。

1 リクルート、2 宇野宗佑、3 海部俊樹、4 宮沢喜一、5-PKO、6 佐川急便、7 細川護熙

## 連立政権の時代☆Mini 日本史 2009.12.20

日本新党の(1)を首相とする8党派の連立内閣は94年に政治改革法案を成立させたが政治資金疑惑で退陣した。次の新生党の(2)を首班とする内閣は(3)条約批准のほか実績を残さず短命で退陣した。6月、日本社会党の(4)を首班とする自民党との連立内閣が成立した。翌95年、1月に(5)大震災、3月に(6)事件が起きた。

1 細川護熙、2 羽田孜、3 子ども<児童>の権利、4 村山富市、5 阪神・淡路、6 地下鉄サリン

## 戦後50年国会決議☆Mini 日本史 2009.12.21

戦後50年にあたる(1)年、日本の国会<衆議院>は次の戦後50年決議を行った。「世界の近代史上における数々の(2)支配や(3)的行為に思いをいたし、我が国が過去に行ったこうした行為や他国民とくにアジアの諸国民に与えた苦痛を認識し、深い(4)の念を表明する。我々は、過去の戦争についての(5)観の相違を超え、(5)の教訓を謙虚に学び、平和な国際社会を築いていかなければならない。」

1-1995、2 植民地、3 侵略、4 反省、5 歴史

「強い国家」へ☆Mini 日本史 2009.12.22

1996年1月、社会・自民連立の(1)内閣が退陣し、連立のまま自民党の(2)内閣が発足した<同年11月、連立解消、自民単独>。同年末、(3)でおきた日本大使館人質事件<97年4月解決>は「強い国家」づくりをうながした。98年成立の(4)内閣は翌99年に通信傍受法<盗聴法>、日の丸・君が代を法的に位置づけた(5)を制定した。2000年、首相の病気により(6)が組閣した。

1 村山富市、2 橋本龍太郎、3 ペルー、4 小渕恵三、5 国旗・国歌法、6 森喜朗

省庁の再編成☆Mini 日本史 2009.12.23

2001年<平成13>1月、(1)内閣のとき、中央省庁の再編が断行された。大蔵省の大部分は(2)省、通商産業省は(3)省、北海道開発庁・国土庁・運輸省・建設省は(4)省、自治省・総務庁は(5)省、厚生省・労働省は厚生労働省、文部省・科学技術庁は(6)省、環境庁は環境省、総理府・経済企画庁・沖縄開発庁は内閣府など、(7)府(8)省庁に統合・再編された。

1 森喜朗、2 財務、3 経済産業、4 国土交通、5 総務、6 文部科学、7-1、8-12

21世紀の開幕☆Mini 日本史 2009.12.24

2001年4月、自民・(1)・保守の3党連立の(2)内閣が「郵政の民営化」をかかげて成立した。同内閣は、同年9月にアメリカで発生した(3)テロをうけて、(4)を成立させた。翌02年9月、北朝鮮との(5)に調印したが拉致問題で国交正常化交渉はすすまなかった。(6)戦争が起きた03年、有事関連3法が成立した。2006年9月、(7)内閣が成立した。

1 公明、2 小泉純一郎、3 同時多発、4 テロ対策特別措置法、5 日朝平壤宣言、6 イラク、7 安倍晋三

## IT産業の発達☆Mini 日本史 2009.12.25

2005年9月の衆院選では、(1)民営化の実施を唱える(2)首相の与党(3)が圧勝した。このとき、IT産業で発展したライブドア経営者(4)〈1972-〉が立候補している。IT産業の経済界・マスコミ界等への進出もめざましく、ヤフー経営者の(5)〈1957-〉、04年にプロ野球の球団を結成した楽天経営者の(6)〈1965-〉らが成功した経営者として有名である。

1 郵政、2 小泉純一郎、3 自由民主党、4 堀江貴文、5 孫正義、6 三木谷浩史

## 格差社会の前兆☆Mini 日本史 2009.12.26

1990年10月、東京証券取引所平均株価が2万円を割り込んだことは、バブル経済崩壊の象徴になった。以後、各企業は(1)序列・(2)雇用など従来の労働慣行を見直し、企業の再構築〈いわゆる(3)〉の名のもとに多くの労働者を切り捨てていった。政府も(4)法〈1986年施行〉を改訂し、1999年4月から女子の深夜業を容認した。現在、派遣社員、フリーター、ニートなど低賃金の労働者が増加している。

1 年功、2 終身、3 リストラ、4 男女雇用機会均等

## 銀行の変遷☆Mini 日本史 2009.12.27

戦後の6大都市銀行(以下、\*印)のうち、\*三井は90年太陽神戸と合併、92年(1)銀行に改名、2001年に\*住友と合併、三井住友銀行となった。\*第一は71年日本勧業と合併、2004年\*富士などと合併、(2)銀行となった。\*三和は2002年東海と合併、UFJ銀行となった。\*三菱は96年東京と合併、東京三菱銀行となった。三井住友・(2)・UFJ・東京三菱の4大(3)のうち2行の合併で2006年1月に(4)が発足、3大(3)になった。

1 さくら、2 みずほ、3 メガバンク、4 三菱東京UFJ

政権交代☆Mini 日本史 2009.12.28

2006年9月成立の(1)内閣は閣僚の失言や年金問題への対応が国民の不信を招き、07年7月参院選で自民党は大敗した。同年9月成立の(2)内閣は翌08年7月北海道(3)サミットの開催後に退陣し、同年9月に(4)内閣が成立した。09年8月末の衆院選でも自民党は大敗し、(5)党・社民党・国民新党の3党連立の(6)内閣が成立した。

1 安倍晋三、2 福田康夫、3 洞爺湖、4 麻生太郎、5 民主、6 鳩山由紀夫